

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人睦学園

## (2) 大学名

兵庫大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒675-0195

兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	ワタナベ アズマ 渡邊 東 (平成20年1月15日)		
学長	コウノ マコト 河野 真 (平成28年7月1日)		
学部長	ナガオ ミツシロ 長尾 光城 (平成29年4月1日)		
学科長等	ナガオ ミツシロ 長尾 光城 (平成29年4月1日)	ナガヒロ チエ 長弘 千恵 (令和2年4月1日)	学科運営充実による変更 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4 年	90 人	— 年次 人	360 人	新規入学者を募集	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	90 ( ) [ - ]		90 ( ) [ - ]		90 ( ) [ - ]		90 ( ) [ - ]		90 ( ) [ - ]		1.10倍	1.12倍	
志願者数	626 ( ) [ - ]		601 ( ) [ - ]		615 ( ) [ - ]		659 ( ) [ - ]		425 ( ) [ - ]				
受験者数	600 ( ) [ - ]		576 ( ) [ - ]		546 ( ) [ - ]		596 ( ) [ - ]		368 ( ) [ - ]				
合格者数	152 ( ) [ - ]		143 ( ) [ - ]		158 ( ) [ - ]		145 ( ) [ - ]		159 ( ) [ - ]				
B 入学者数	109 ( ) [ - ]		103 ( ) [ - ]		98 ( ) [ - ]		99 ( ) [ - ]		99 ( ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A	1.21		1.14		1.08		1.10		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( ( ) )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	110 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	103 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	98 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	99 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	99 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2 年次	/		106 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	104 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	96 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	102 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3 年次	/		/		104 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	101 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	89 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4 年次	/		/		/		106 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	113 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	110 [ - ] ( - )		209 [ - ] ( - )		306 [ - ] ( - )		402 [ - ] ( - )		403 [ - ] ( - )		

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	110人	4人	平成29年度	4人	0人	・就学意欲の低下(2人) ・就職(1人) ・学生個人の心身に関する事情(1人)
平成30年度	209人	2人	平成29年度	2人	0人	・就学意欲の低下(2人)
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	306人	8人	平成29年度	3人	0人	・就学意欲の低下(1人) ・就職(1人) ・その他(1人)
			平成30年度	3人	0人	・就学意欲の低下(2人) ・除籍(1人)
			令和元年度	2人	0人	・就学意欲の低下(1人) ・他の教育機関への入学・転学(1人)
令和2年度	402人	6人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	1人	0人	・就学意欲の低下(1人)
			令和元年度	2人	0人	・就職(1人) ・その他(1人)
			令和2年度	3人	0人	・就職(2人) ・その他(1人)
令和3年度	403人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
合計		20人		20人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{110} = \boxed{3.63} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{209} = \boxed{0.95} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{306} = \boxed{2.61} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{402} = \boxed{1.49} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{403} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教壇	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神	宗教と人生 仏教と現代社会	1前 1後	2 2								1 1
	小計(2科目)	-	2 2								1
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								1
	実用英語 I	1後	2								1
	実用英語 II	2前	2								1
	実用英語 III	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								1
	韓国語(中級)	1後	2								1
	コンピュータ演習	1前	2								2
小計(10科目)	-	6 14								8	
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1前	2								1
	芸術	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	小計(1科目)	-	2								1
現代社会を読み解く	哲学	1後	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	小計(7科目)	-	14								7
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学 I (講義)	1後	2								1
	健康・スポーツ科学 II (演習)	1前	2								1
	健康・スポーツ科学 III (演習)	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								2
キャリアデザイン	私のための キャリア設計	1前	2								1
	小計(1科目)	-	2								1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教壇	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神	宗教と人生 仏教と現代社会	1前 1後	2 2								1 1
	兵庫大学の学びと和 地域と仏教	1後 1前	2 1								2 2
	兵大京都学	1後	1								2
	小計(5科目)	-	2 6								4
	日本語(読解と表現)	1前	2								2
コミュニケーション	英語	1前	2								4
	実用英語 I	1後	2								1
	実用英語 II	2前	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								1
	韓国語(中級)	1後	2								1
	コンピュータ演習	1前	2								3
	コンピュータ グラフィックスの基礎	1後	2								2
	小計(10科目)	-	6 14								13
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
	小計(3科目)	-	6								3
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	産業デザインと地域	1後	2								1
	地域と文化財	1前	2								1
	地域資料を読む	1後	2								1
	日本の伝統文化	1前	2								2
	「将棋」を学ぶ	1前	2								2
	フシリテーション入門	1前	2								3
小計(6科目)	-	12								5	
現代社会を読み解く	哲学	1前	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	現代社会の理解	1前	2								1
	小計(7科目)	-	14								7
自然と科学	生命倫理学	1前	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1前	2								1
	身のまわりの科学 プログラミング入門	1前 1後	2 2								2 1
	小計(6科目)	-	12								6
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学 I (講義)	1後	2								2
	健康・スポーツ科学 II (演習)	1前	2								3
	健康・スポーツ科学 III (演習)	1後	2								3
	小計(4科目)	-	8								5
キャリアデザイン	私のための キャリア設計	1前	2								1
	ヒューマンサービスと マネジメント	3後	2								3
	入門ボランティア(未開講)	1通	2								3
	小計(3科目)	-	6								6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
I群 (健康支援と社会保険制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	人間関係論 (カウンセリング含む)	2前	2								1	
	家族関係論	1後	2								1	
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1		1						1	
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					1	
	公衆衛生学(疫学含む)	2後	2			1					1	
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(8科目)	-	6	9		2	1					4
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
		化学基礎	1前	2								3
		形態機能論 I	1前	2		1						
		形態機能論 II	1後	2		1						
		生化学(未開講)	1後	2		2						1
栄養学(食品学を含む)		1後	2								1	
薬理学		2前	2			1						
免疫・微生物学		2後	2			1						
小計(8科目)	-	14	2		2						7	
III群 (疾病の成立及び治療の促進)	臨床病理病態学 I (内科系)	2前	2			1						
	臨床病理病態学 II (内科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 III (外科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2前	2					1			1	
	小計(4科目)	-	8			2		1				1
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	1			1						
	ヘルスアセスメント	1後	1			1	1	1	1	2		
	看護技術論 I (生活技術援助)	1前	2			1	1	1	1	2		
	看護技術論 II (診療技術援助)	2前	2			1	1	1	1	2		
	看護技術論 III (看護過程)	2後	1			1	1	1	1	2		
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	1	1	3	9		
	基礎看護学実習 II	2後	2			1	1	1	3	9		
	看護教育学	4前	1			1						
	看護倫理	4前	1			1						
	看護管理学	3前	1			1						
小計(11科目)	-	15			3	2	1	3	9			
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	1	1				
	成人看護援助論 I (生命危機状態にある人)	3前	2			1	1	3	1	1		
	成人看護援助論 II (常態の維持・増進が困難な人)	3前	2			1		3	1	1		
	成人看護学実習 I	3後	3			1	1	3	1	1		
	成人看護学実習 II	3後	3			1	1	3	1	1		
	老年看護学概論	2前	2			1	1					
	老年看護援助論	3前	2			1	1	1				
	老年看護学実習 I	3後	2			1	1	1	1	2		
	老年看護学実習 II	3後	2			1	1	1	1	2		
	小計(9科目)	-	20			2	2	3	2	3		
	VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2			1					
母性看護援助論		3前	2			1		2				
母性看護学実習		3後	2			1		2		1		
小児看護学概論		2後	2				1					
小児看護援助論		3前	2				1				1	
小児看護学実習		3後	2				1				1	
小計(6科目)	-	12			1	1	2				2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
I群 (健康支援と社会保険制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	家族関係論	1後	2					2				
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1		1						1	
	保健医療福祉行政論	2後	2					1			1	
	公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2					1			1	
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(7科目)	-	6	7		3						4
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
		化学基礎	1前	2								1
		形態機能論 I	1前	2					1			
		形態機能論 II	1後	2					1			
		栄養学(食品学を含む)	1後	2								1
		薬理学	2前	2					1			
免疫・微生物学		1後	2					1				
小計(7科目)		-	14			1	1					4
III群 (疾病の成立及び治療の促進)	臨床病理病態学 I (内科系)	2前	2						1			
	臨床病理病態学 II (内科系)	2後	2						1			
	臨床病理病態学 III (外科系)	2後	2					1				
	臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2前	2						1	1		
	小計(4科目)	-	8					1	2	1		
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2						3			
	看護理論	1後	1								1	
	ヘルスアセスメント	2前	1					2	1		5	
	看護技術論 I (生活技術援助)	1後	2						1		3	
	看護技術論 II (診療補助技術)	2前	2						1		5	
	看護技術論 III (看護過程)	2前	2						1		1	
	看護技術論 III (看護過程)	2前	1						1		2	
	基礎看護学実習 I	1後	1						1		5	
	基礎看護学実習 II	2後	2						1		6	
	総合看護	4後	1					1				
	看護教育学	4後	1					2				
看護倫理	2前	1						1				
看護管理学	4前	1								1		
小計(12科目)	-	16					6	2			7	
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2						2	1		
	成人看護援助論 I (急性期)	3前	2					1			1	
	成人看護援助論 II (慢性期)	3前	2					1	2		1	
	成人看護学実習 I	3後	3					1		1	1	
	成人看護学実習 II	3後	3					1	2			
	老年看護学概論	2前	2					1	1		1	
	老年看護援助論	3前	2					1	1		2	
	老年看護学実習 I	3後	2					1	1		2	
	老年看護学実習 II	3後	2					1	1		2	
小計(9科目)	-	20					3	3	2		3	
VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2								1	
	母性看護援助論	3前	2						1	1		
	母性看護学実習	3後	2						1	1	1	
	小児看護学概論	2後	2					1				
	小児看護援助論	3前	2					1	1		1	
	小児看護学実習	3後	2					1	1		1	
小計(6科目)	-	12					1	2	1		1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅶ群(精神・在宅・公衆衛生看護学)	精神看護学概論	2後	2			1					1
	精神看護援助論	3前	2			1					
	精神看護学実習	3後	2			1				2	
	在宅看護概論	2後	2			1					
	在宅看護援助論	3前	2			1		1			
	在宅看護実習	4前	2			1		1		1	
	公衆衛生看護学概論	2後	2				1				
	健康教育論	3前	1				1				
	学校保健概論	2後	1					1			1
	災害看護学(災害保健を含む)	4前	1					1			
小計(10科目)	-	17			2	1	3			3	1
Ⅳ群(看護の統合と実践)	基礎ゼミ	1前	2			10	5	9	3		
	看護研究Ⅰ(基礎編)	2前	2			10	5	9	2		
	看護研究Ⅱ(応用編)	4通	2			10	5	9	3		
	リスクマネジメント論	3前	1					1			
	国際看護学Ⅰ	2後	1					1			
	国際看護学Ⅱ	3前		1				1			
	看護の統合と実践実習	3後	2			6	5	8	2	5	
	小計(7科目)	-	10	1		10	5	9	3	5	
Ⅹ群(保健師関連)	疫学	2前	2			1					
	公衆衛生看護学活動展開論	3前	2			1					
	健康相談活動の理論と実践	3前	2							1	
	産業保健論	3前	1				1				
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1				1			1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4				1			1	
	公衆衛生看護学特論	4後	1				1				
小計(7科目)	-	13			1	1				1	1
Ⅹ群(養護教諭関連)	学校保健活動論	3前	2					1			
	学校保健演習	3後	2					1			
	養護概説	2後	2					1			
	小計(3科目)	-	6					1			
教職に関する科目	教育原理	1前	2								1
	教職概論	1前	2								1
	教育制度論	1後	2								1
	教育心理学	2後	2								1
	教育課程論(道徳、特別活動を含む)	2後	2								1
	教育方法・技術論	2後	2								1
	生徒指導論	2前	2								1
	教育相談(カウンセリングを含む)	1後	2								1
	養護実習(事前事後指導を含む)	4後	5					1			
	教職実践演習(養護教諭)	4通	2					1			
小計(10科目)	-	23					1			6	
合計(120科目)	-	110	120		10	5	9	3	9	47	
卒業要件及び履修方法											
共通教育科目から26単位以上、専門教育科目から98単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通教育科目から8単位、専門基礎科目から28単位、専門実践科目から64単位、統合科目から10単位を修得すること。(履修科目の登録の上限:60単位)											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅶ群(精神・在宅・公衆衛生看護学)	精神看護学概論	2後	2			1				1	1
	精神看護援助論	3前	2			1				1	
	精神看護学実習	3後	2			1				1	
	在宅看護概論	2後	2			1					
	在宅看護援助論	3前	2					2		2	
	在宅看護実習	4前	2			1		2			1
	公衆衛生看護学概論	2後	2				1				
	健康教育論	3前	1				1				
	学校保健概論	2後	1								1
	災害看護学	4前	1					1			
小計(10科目)	-	17			4	2	2	1	1	2	
Ⅳ群(看護の統合と実践)	基礎ゼミ	1前	2			4	6	6	1		1
	看護研究Ⅰ	3前	2			8	7	6	1		1
	看護研究Ⅱ	4通	2			8	7	6	1		1
	リスクマネジメント論	3前	1					1			
	国際看護学Ⅰ	2前	1					1			
	国際看護学Ⅱ	3後		1				1			
	看護の統合と実践実習	4前	2			4	6	4	1	4	1
	小計(7科目)	-	10	1		8	7	6	1	4	1
Ⅹ群(保健師関連)	疫学	3前	2								1
	公衆衛生看護学活動展開論	3前	2						2		
	健康相談活動の理論と実践	3前	2								1
	産業保健論	3前	1					2			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1			1		2			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4			1		2			
	公衆衛生看護学特論	4後	1					2			
小計(7科目)	-	13			1		2			2	
Ⅹ群(養護教諭関連)	学校保健活動論	3前	2								1
	学校保健演習	3後	2								1
	養護概説	2後	2								1
	小計(3科目)	-	6								1
教職に関する科目	教育原理	1前	2								1
	教職概論	1前	2								1
	教育制度論	1後	2								1
	教育心理学	1後	2								1
	特別支援教育論	2後	2								1
	教育課程論	2前	2								1
	小計(6科目)	-	12								4
	道徳教育の理論	2後	1								1
	特別活動・総合的な学習の時間	3前	1								1
	教育方法・技術論	2後	2								1
生徒指導論	2前	2								1	
教育相談(カウンセリングを含む)	2後	2								1	
小計(5科目)	-	8								5	
関する実践科目	養護実習(事前事後指導を含む)	4通	5								1
	教職実践演習(養護教諭)	4後	2								1
	小計(2科目)	-	7								1
合計(133科目)	-	111	140		10	7	6	1	7	54	
卒業要件及び履修方法											
共通教育科目から22単位以上、専門教育科目から102単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通教育科目から8単位、専門基礎科目から28単位、専門実践科目から64単位、統合科目から10単位を修得すること。(履修科目の登録の上限:60単位)											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
建学の精神	宗教と人生	1後	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								1
	兵庫大学の学びと和	1後	2								2
	小計(3科目)	-	2	4							1
	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								3
	実用英語 I	1後	2								3
	実用英語 II	2前	2								1
	実用英語 III	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
韓国語(初級)	1前	2								2	
韓国語(中級)	1後	2								2	
コンピュータ演習	1前	2								3	
コンピュータグラフィックスの基礎	1後	2								2	
小計(11科目)	-	6	16								15
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
小計(4科目)	-		8								4
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1前	2								1
	芸術	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
小計(4科目)	-		8								4
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	建築デザインと地域	1後	2								1
	地域と文化財	1前	2								1
	地域資料を読む	1後	2								1
小計(4科目)	-		8								2
現代社会を読み解く	哲学	1後	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	現代社会の理解	1前	2								1
小計(8科目)	-		16								8
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1後	2								1
	身のまわりの科学	1前	2								2
小計(5科目)	-		10								6
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学 I (講義)	1後	2								2
	健康・スポーツ科学 II (演習)	1前	2								1
	健康・スポーツ科学 III (演習)	1後	2								1
小計(4科目)	-		8								4
キャリアデザイン	私のためのキャリア設計	1前	2								1
	小計(1科目)	-		2							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
建学の精神	宗教と人生	1前	2								1	
	仏教と現代社会	1後	2								1	
	兵庫大学の学びと和	1後	2								2	
	兵大京都学	1後	1								2	
	小計(4科目)	-	2	5								3
	日本語(読解と表現)	1前	2								2	
	英語	1前	2								4	
	実用英語 I	1後	2								3	
	実用英語 II	2前	2								3	
	実用英語 III	2後	2								1	
	中国語(初級)	1前	2								1	
中国語(中級)	1後	2								1		
韓国語(初級)	1前	2								1		
韓国語(中級)	1後	2								1		
コンピュータ演習	1前	2								3		
コンピュータグラフィックスの基礎	1後	2								2		
小計(11科目)	-	6	16								14	
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前	2								1	
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後	2								1	
	国際関係論	1後	2								1	
	比較文化論	1後	2								1	
小計(4科目)	-		8								4	
歴史と文化	歴史学	1前	2								1	
	文学	1前	2								1	
	色彩とデザイン	1前	2								1	
	小計(3科目)	-		6								3
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1	
	建築デザインと地域	1後	2								1	
	地域と文化財	1後	2								1	
	地域資料を読む	1後	2								1	
小計(4科目)	-		8								2	
現代社会を読み解く	哲学	1後	2								1	
	法と社会	1後	2								1	
	日本国憲法	1前	2								1	
	人権の歴史	1前	2								1	
	政治学	1前	2								1	
	社会学	1前	2								1	
	経済学	1前	2								1	
	現代社会の理解	1前	2								2	
小計(8科目)	-		16								9	
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1	
	心理学	1前	2								1	
	化学	1前	2								1	
	生物学	1後	2								1	
	身のまわりの科学	1前	2								2	
	プログラミング入門	1後	2								1	
小計(6科目)	-		12								6	
くらしと健康	食と健康	1後	2								1	
	健康・スポーツ科学 I (講義)	1後	2		1						1	
	健康・スポーツ科学 II (演習)	1前	2								1	
	健康・スポーツ科学 III (演習)	1後	2								1	
小計(4科目)	-		8		1						3	
キャリアデザイン	私のためのキャリア設計	1前	2								1	
	入門ボランティア	1通	2								3	
小計(2科目)	-		4								4	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I群 (健康支援と社会保障制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	人間関係論 (カウンセリング含む)	2前	2								1	
	家族関係論	1後	2								1	
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1			1						
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					1	
	公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2			1						
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(8科目)	-	6	9		3						4
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
化学基礎		1前	2								3	
形態機能論 I		1前	2			1						
形態機能論 II		1後	2			1						
生化学		1後	2	2							1	
栄養学(食品学を含む)		1後	2								2	
薬理学		2前	2			1						
免疫・微生物学		1後	2			1						
小計(8科目)		-	14	2		2						7
III群 (疾病の成立及び回復の促進)		臨床病理病態学 I (内科系)	2前	2			1					
	臨床病理病態学 II (内科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 III (外科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2前	2					1			1	
	小計(4科目)	-	8			2		1				1
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	1			1						
	ヘルスアセスメント	2前	1			1	1	1			2	
	看護技術論 I (生活援助技術)	1後	2			1	1	1			5	
	看護技術論 II (診療補助技術)	2前	2			1	1	1			5	
	看護技術論 III (看護過程)	2後	1			1	1	1			2	
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	1	1	1		7	
	基礎看護学実習 II	2後	2			1	1	1	1		7	
	看護教育学	4前	1			1						
	看護倫理	4前	1			1						
	看護管理学	3前	1			1						
小計(11科目)	-	15			3	2	1	1	1	7	7	
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	1	1				
	成人看護援助論 I (急性期)	3前	2			1	1	4			1	
	成人看護援助論 II (慢性期)	3前	2			1		4			1	
	成人看護学実習 I	3後	3			1	1	4			1	
	成人看護学実習 II	3後	3			1	1	4			1	
	老年看護学概論	2前	2			1						
	老年看護援助論	3前	2			1			1			
	老年看護学実習 I	3後	2			1			1		2	
	老年看護学実習 II	3後	2			1			1		2	
	小計(9科目)	-	20			2	1	5	1			
VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2			1						
	母性看護援助論	3前	2			1		2				
	母性看護学実習	3後	2			1					1	
	小児看護学概論	2後	2			1						
	小児看護援助論	3前	2			1						
	小児看護学実習	3後	2			1					1	
小計(6科目)	-	12			2		2				2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I群 (健康支援と社会保障制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	人間関係論(未開講)	2前	2								1	
	家族関係論	1後	2				1					
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1								1	
	保健医療福祉行政論	2後	2					1			1	
	公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2				1					
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(8科目)	-	6	9		2	1					4
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
化学基礎		1前	2								3	
形態機能論 I		1前	2			1						
形態機能論 II		1後	2			1						
生化学(未開講)		1後	2	2							1	
栄養学(食品学を含む)		1後	2								2	
薬理学		2前	2			1						
免疫・微生物学		1後	2			1						
小計(8科目)		-	14	2		2						6
III群 (疾病の成立及び回復の促進)		臨床病理病態学 I (内科系)	2前	2			1					
	臨床病理病態学 II (内科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 III (外科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2前	2						2		1	
	小計(4科目)	-	8			2			2			1
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	1			1						
	ヘルスアセスメント	2前	1			1	1	1				
	看護技術論 I (生活援助技術)	1後	2			1	1	1				
	看護技術論 II (診療補助技術)	2前	2			1	1	1				
	看護技術論 III (看護過程)	2後	1			1	1	1				
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	1	1	1		5	
	基礎看護学実習 II	2後	2			1	1	1	1		5	
	看護教育学	4前	1			1						
	看護倫理	4前	1			1						
	看護管理学	3前	1			1					1	
小計(11科目)	-	15			3	1	1	1	1	5	1	
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	1					
	成人看護援助論 I (急性期)	2後 3前	2			1	1	5				
	成人看護援助論 II (慢性期)	2後 3前	2			1	1	5				
	成人看護学実習 I	3後	3			1	1	5	1			
	成人看護学実習 II	3後	3			1	1	5	1			
	老年看護学概論	2前	2			1						
	老年看護援助論	3前	2			1					1	
	老年看護学実習 I	3後	2			1					2	
	老年看護学実習 II	3後	2			1					2	
	小計(9科目)	-	20			2	1	5	1	1	3	
VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2			1						
	母性看護援助論	3前	2			1		1			1	
	母性看護学実習	3後	2			1		1			1	
	小児看護学概論	2後	2			1						
	小児看護援助論	3前	2			1		1			1	
	小児看護学実習	3後	2			1		1			1	
小計(6科目)	-	12			2		3			1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅲ群(精神・在宅・公衆衛生看護学) 専門実践科目	精神看護学概論	2後	2			1					1
	精神看護援助論	3前	2			1					
	精神看護学実習	3後	2			1				1	
	在宅看護概論	2後	2			1					
	在宅看護援助論	3前	2			2		1			
	在宅看護実習	4前	2			2		1		1	
	公衆衛生看護学概論	2後	2			1					
	健康教育論	3前	1			1					
	学校保健概論	2後	1					1			
	災害看護学	4前	1					1			
小計(10科目)	-	17			5		3			1	
Ⅳ群(看護の統合と実践) 専門教育科目	基礎ゼミ	1前	2			10	2	9	1		
	看護研究Ⅰ	2前	2			13	2	10	1		
	看護研究Ⅱ	4通	2			13	2	10	1		
	リスクマネジメント論	3前	1					1			
	国際看護学Ⅰ	2後	1					1			
	国際看護学Ⅱ	3前	1					1			
	看護の統合と実践実習	3後	2			6	2	8	1	5	
小計(7科目)	-	10	1		13	2	11	1	5		
Ⅹ群(保健師関連) 関連科目	疫学	2前	2			1					
	公衆衛生看護学 活動展開論	3前	2			1		1			
	健康相談活動の 理論と実践	3前	2							1	
	産業保健論	3前	1					1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1			1		1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4			1		1			
	公衆衛生看護学特論	4後	1			1		1			
小計(7科目)	-	13			2		1			1	
Ⅺ群(養護教諭関連) 関連科目	学校保健活動論	3前	2					1			
	学校保健演習	3後	2					1			
	養護概説	2後	2					1			
	小計(3科目)	-	6					1			
教職に関する科目	教育原理	1前	2								1
	教職概論	1前	2								1
	教育制度論	1後	2								1
	教育心理学	2後	2								1
	教育課程論	2後	2								1
	(道徳、特別活動を含む) 教育方法・技術論	2後	2								1
	生徒指導論	2前	2								1
	教育相談	1後	2								1
	(カウンセリングを含む) 教職実践演習 (養護教諭)	4後	2					1			
	養護実習 (事前事後指導を含む)	4通	5					1			
小計(10科目)	-	23					1			6	
合計(120科目)	-	110	120		10	5	9	3	9	47	
卒業要件及び履修方法											
共通教育科目から22単位以上、専門教育科目から102単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通教育科目から8単位、専門基礎科目から28単位、専門実践科目から64単位、統合科目から10単位を修得すること。 (履修科目の登録の上限:60単位)											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅲ群(精神・在宅・公衆衛生看護学) 専門実践科目	精神看護学概論	2後	2			1					1
	精神看護援助論	3前	2			1					
	精神看護学実習	3後	2			1				1	
	在宅看護概論	2後	2			1					
	在宅看護援助論	3前	2			1		1			
	在宅看護実習	4前	2			1		1		1	
	公衆衛生看護学概論	2後	2			1		1	1		
	健康教育論	3前	1			1					
	学校保健概論	2後	1					1			
	災害看護学	4前	1					1			
小計(10科目)	-	17			3	1	4			1	
Ⅳ群(看護の統合と実践) 専門教育科目	基礎ゼミ	1前	2			8	3	10	1		
	看護研究Ⅰ	3前	2			10	3	12	1		
	看護研究Ⅱ	4通	2			10	3	12	1		
	リスクマネジメント論	3前	1					1			
	国際看護学Ⅰ	2前	1					1			
	国際看護学Ⅱ	3後	1					1			
	看護の統合と実践実習	3後	2			6	2	9	1		
小計(7科目)	-	10	1		10	3	12	1			
Ⅹ群(保健師関連) 関連科目	疫学	3前	2			1					
	公衆衛生看護学 活動展開論	3前	2			1		1			
	健康相談活動の 理論と実践	3前	2							1	
	産業保健論	3前	1					1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1			1		1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4			1		1			
	公衆衛生看護学特論	4後	1			1		1			
小計(7科目)	-	13			1	1	1			1	
Ⅺ群(養護教諭関連) 関連科目	学校保健活動論	3前	2					1			
	学校保健演習	3後	2					1			
	養護概説	2後	2					1			
	小計(3科目)	-	6					1			
教職に関する科目	教育原理	1前	2								1
	教職概論	1前	2								1
	教育制度論	1後	2								1
	教育心理学	2後	2								1
	教育課程論	2後	2								1
	(道徳、特別活動を含む) 教育方法・技術論	2後	2								1
	生徒指導論	2前	2								1
	教育相談	1後	2								1
	(カウンセリングを含む) 教職実践演習 (養護教諭)	4後	2					1			
	養護実習 (事前事後指導を含む)	4通	5					1			
小計(10科目)	-	23					1			6	
合計(129科目)	-	110	137		10	3	12	1	6	54	
卒業要件及び履修方法											
共通教育科目から22単位以上、専門教育科目から102単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通基礎科目から8単位、専門教育科目から28単位、専門実践科目から64単位、統合科目から10単位を修得すること。 (履修科目の登録の上限:60単位)											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神	宗教と人生	1前	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								2
	兵庫大学の学びと和	1後	2								2
	地域と仏教	1前	1								2
兵庫京都学	1後	1								2	
小計(5科目)	-	2	6								4
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								4
	実用英語 I	1後	2								2
	実用英語 II	2前	2								2
	実用英語 III	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								1
	韓国語(中級)	1後	2								1
	コンピュータ演習	1前	2								3
	コンピュータグラフィックスの基礎	1後	2								2
小計(11科目)	-	6	16								14
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
小計(4科目)	-	8									4
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
	小計(3科目)	-	6								3
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	建築デザインと地域	1後	2								1
	地域と文化財	1前	2								1
	地域資料を読む	1後	2								1
	日本の伝統文化「将棋」を学ぶ	1前	2								2
	小計(5科目)	-	10								2
現代社会を読み解く	哲学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	現代社会の理解	1前	2								1
	小計(8科目)	-	16								7
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	2	2								1
	生物学	1前	2								1
	身のまわりの科学	1前	2								2
	プログラミング入門	1後	2								1
小計(6科目)	-	12								6	
くらしと健康	食と健康	1後	2		1						1
	健康・スポーツ科学 I (講義)	1後	2								1
	健康・スポーツ科学 II (演習)	1前	2								3
	健康・スポーツ科学 III (演習)	1後	2								3
小計(4科目)	-	8		1						4	
キャリアデザイン	私のためのキャリア設計	1前	2								2
	キャリア設計	1後	2								2
	ヒューマンサービスとマネジメント	3後	2								2
	入門ボランティア	1通	2								3
	小計(3科目)	-	6								6

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神	宗教と人生	1前	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								1
	兵庫大学の学びと和	1後	2								2
	地域と仏教	1前	1								2
兵庫京都学	1後	1								2	
小計(5科目)	-	2	6								4
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								4
	実用英語 I	1後	2								1
	実用英語 II	2前	2								1
	実用英語 III	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								1
	韓国語(中級)	1後	2								1
	コンピュータ演習	1前	2								3
	コンピュータグラフィックスの基礎	1後	2								2
小計(11科目)	-	6	16								15
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
小計(4科目)	-	8								4	
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
	小計(3科目)	-	6								3
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	建築デザインと地域	1後	2								1
	地域と文化財	1前	2								1
	地域資料を読む	1後	2								1
	日本の伝統文化「将棋」を学ぶ(未開講)	1前	2								2
	ファシリテーション入門	1前	2								3
小計(6科目)	-	12								5	
現代社会を読み解く	哲学	1前	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	現代社会の理解	1前	2								1
小計(7科目)	-	14								7	
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1前	2								1
	身のまわりの科学	1前	2								2
	プログラミング入門	1後	2								1
小計(6科目)	-	12								6	
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学 I (講義)	1後	2								2
	健康・スポーツ科学 II (演習)	1前	2								3
	健康・スポーツ科学 III (演習)	1後	2								3
小計(4科目)	-	8								5	
キャリアデザイン	私のためのキャリア設計	1前	1								1
	(未開講)	1後	1								1
	ヒューマンサービスとマネジメント(未開講)	3後	2								2
	入門ボランティア	1通	2								3
小計(3科目)	-	6								4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I群 (健康支援と社会保障制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	人間関係論 (カウンセリング含む)(未開講)	2前	2									
	家族関係論	1後	2			1						
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1								1	
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					1	
	公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2			1						
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(8科目)	-	6	9		3					5	
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
		化学基礎	1前	2								3
形態機能論 I		1前	2			1						
形態機能論 II		1後	2			1						
生化学(未開講)		1後	2	2								
栄養学(食品学を含む)		1後	2								2	
薬理学		2前	2			1						
免疫・微生物学		1後	2			1						
小計(8科目)		-	14	2		2					6	
III群 (疾病の成立及び回復の促進)		臨床病理病態学 I (内科系)	2前	2			1					
		臨床病理病態学 II (内科系)	2後	2			1					
	臨床病理病態学 III (外科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2前	2					2			1	
	小計(4科目)	-	8			2		2			1	
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	1								1	
	ヘルスアセスメント	2前	1			1	1					
	看護技術論 I (生活援助技術)	1後	2			1	1					
	看護技術論 II (診療補助技術)	2前	2			1	1					
	看護技術論 III (看護過程)	2前	1			1	1					
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	1				4	
	基礎看護学実習 II	2後	2			1	1				4	
	総合看護	4後	1			1						
	看護倫理	2前	1			1						
	看護管理学	4前	1								1	
小計(11科目)	-	15			2	2			4	1		
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	2					
	成人看護援助論 I (急性期)	2後 3前	2			1	2	3				
	成人看護援助論 II (慢性期)	2後 3前	2			1	2	3				
	成人看護学実習 I	3後	3			1	2	3				
	成人看護学実習 II	3後	3			1	2	3				
	老年看護学概論	2前	2			1		1				
	老年看護援助論	3前	2					2			2	
	老年看護学実習 I	3後	2					2			2	
	老年看護学実習 II	3後	2					2			2	
	小計(9科目)	-	20			2	2	6		2		
	VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2			1					
母性看護援助論		3前	2			1		2				
母性看護学実習		2後	2			1		2				
小児看護学概論		2後	2			1						
小児看護援助論		3前	2			1	1	1			1	
小児看護学実習		3後	2			1	1	1			1	
小計(6科目)	-	12			2	1	2		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I群 (健康支援と社会保障制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	家族関係論	1後	2			1						
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1								1	
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					1	
	公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2			1						
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(7科目)	-	6	7		3					4	
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
		化学基礎	1前	2								3
		形態機能論 I	1前	2					1			
形態機能論 II		1後	2					1				
栄養学(食品学を含む)		1後	2								1	
薬理学		2前	2			1						
免疫・微生物学		1後	2			1						
小計(7科目)		-	14			1	1				6	
III群 (疾病の成立及び回復の促進)		臨床病理病態学 I (内科系)	2前	2					1			
		臨床病理病態学 II (内科系)	2後	2					1			
		臨床病理病態学 III (外科系)	2後	2					1			
	臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2前	2						2		1	
	小計(4科目)	-	8					1	1	2	1	
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2					3				
	看護理論	1後	1								1	
	ヘルスアセスメント	2前	1			1	1					
	看護技術論 I (生活技術援助)	1後	2			1						
	看護技術論 II (診療補助技術)	2前	2			1					1	
	看護技術論 III (看護過程)	2前	1			1						
	基礎看護学実習 I	1後	1					1			4	
	基礎看護学実習 II	2後	2					1			4	
	総合看護	4後	1					1				
	看護倫理	2前	1			1						
	看護管理学	4前	1								1	
小計(11科目)	-	15					6	2	1	4	2	
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2					2	2			
	成人看護援助論 I (急性期)	2後 3前	2					1	1	1		
	成人看護援助論 II (慢性期)	2後 3前	2					1		1		
	成人看護学実習 I	3後	3					2	1	2		
	成人看護学実習 II	3後	3					2	1	2		
	老年看護学概論	2前	2					2	1			
	老年看護援助論	3前	2						1		2	
	老年看護学実習 I	3後	2						1	1	2	
	老年看護学実習 II	3後	2						1	1	2	
	小計(9科目)	-	20					4	2	3	2	
	VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2						2		1
母性看護援助論		3前	2						2		1	
母性看護学実習		2後	2						2		1	
小児看護学概論		2後	2					1				
小児看護援助論		3前	2					1	1		1	
小児看護学実習		3後	2					1	1		1	
小計(6科目)	-	12					1	1	2	1	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅲ群 （精神・在宅・公衆衛生看護学） 専門実践科目	精神看護学概論	2後	2			1			1		1
	精神看護援助論	3前	2			1			1		
	精神看護学実習	3後	2			1			1		
	在宅看護概論	2後	2			1					
	在宅看護援助論	3前	2			1			2		
	在宅看護実習	4前	2			1			2		
	公衆衛生看護学概論	2後	2			1					
	健康教育論	2後	1			1					
	学校保健概論	2後	1						1		
	災害看護学	4前	1						1		
小計(10科目)	-	17			4			4	1		1
Ⅳ群 （看護の統合と実践） 統合科目 専門教育科目	基礎ゼミ	1前	2			10	5	8	1		
	看護研究Ⅰ	3前	2			10	5	8	1		
	看護研究Ⅱ	4通	2			10	5	10	1		
	リスクマネジメント論	3前	1					1			
	国際看護学Ⅰ	2前	1					1			
	国際看護学Ⅱ	3後	1					1			
	看護の統合と実践実習	4前	2			5	4	8	1		
小計(7科目)	-	10	1		10	5	8	1			
Ⅴ群 （保健師関連） 関連科目	疫学	3前	2		1						
	公衆衛生看護学 活動展開論	3前	2			1		1			
	健康相談活動の 理論と実践	3前	2								1
	産業保健論	3前	1					1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1			1		1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4			1		1			
	公衆衛生看護学特論	4後	1			1		1			
小計(7科目)	-	13			1	1	1				1
Ⅵ群 （養護教諭関連） 関連科目	学校保健活動論	3前	2					1			
	学校保健演習	3後	2					1			
	養護概説	2後	2					1			
	小計(3科目)	-	6					1			
教育に関する基礎的科目理解	教育原理	1前	2								1
	教職概論	1前	2								1
	教育制度論	1後	2								1
	教育心理学	2後	2								1
	特別支援教育論	3前	2								1
	教育課程論	2後	2								1
小計(6科目)	-	12									4
内道徳及び総合的な学習の時間に関する科目の履修等	道徳教育の理論	3前	1								1
	特別活動・総合的な学習の時間	3前	1								1
	教育方法・技術論	2後	2								1
	生徒指導論	2前	2								1
	教育相談 (カウンセリングを含む)	1後	2								1
小計(5科目)	-	8									4
関与する実践科目	養護実習 (事前事後指導を含む)	4後	5					1			
	教職実践演習 (養護教諭)	4通	2					1			
	小計(2科目)	-	7					1			
合計(135科目)	-	110	146		10	5	10	1			53
卒業要件及び履修方法											
共通教育科目から22単位以上、専門教育科目から102単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通教育科目から8単位、専門基礎科目から28単位、専門実践科目から64単位、統合科目から10単位を修得すること。 (履修科目の登録の上限: 60単位)											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
Ⅲ群 （精神・在宅・公衆衛生看護学） 専門実践科目	精神看護学概論	2後	2			1			2		1
	精神看護援助論	3前	2			1			2		
	精神看護学実習	3後	2			1			2		
	在宅看護概論	2後	2			1					
	在宅看護援助論	3前	2			1			2		
	在宅看護実習	4前	2			1			2		
	公衆衛生看護学概論	2後	2			1			1		
	健康教育論	2後	1					1			
	学校保健概論	2後	1						1		
	災害看護学	4前	1						1		
小計(10科目)	-	17			3			5	2		1
Ⅳ群 （看護の統合と実践） 統合科目 専門教育科目	基礎ゼミ	1前	2			4	4	7	2		
	看護研究Ⅰ	3前	2			10	5	8	1		
	看護研究Ⅱ	4通	2			10	5	7	2		
	リスクマネジメント論	3前	1					1			
	国際看護学Ⅰ	2前	1					1			
	国際看護学Ⅱ	3後	1					1			
	看護の統合と実践実習	4前	2			4	4	6	2		
小計(7科目)	-	10	1		10	5	8	2			
Ⅴ群 （保健師関連） 関連科目	疫学	3前	2								1
	公衆衛生看護学 活動展開論	3前	2			1		1			
	健康相談活動の 理論と実践	3前	2								1
	産業保健論	3前	1					1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1			1		1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4			1		1			
	公衆衛生看護学特論	4後	1			1		1			
小計(7科目)	-	13			1	1	1				2
Ⅵ群 （養護教諭関連） 関連科目	学校保健活動論	3前	2					1			
	学校保健演習	3後	2					1			
	養護概説	2後	2					1			
	小計(3科目)	-	6					1			
教育に関する基礎的科目理解	教育原理	1前	2								1
	教職概論	1前	2								1
	教育制度論	1後	2								1
	教育心理学	1後	2								1
	特別支援教育論	2後	2								1
	教育課程論	2前	2								1
小計(6科目)	-	12									4
内道徳及び総合的な学習の時間に関する科目の履修等	道徳教育の理論	2後	1								1
	特別活動・総合的な学習の時間	3前	1								1
	教育方法・技術論	2後	2								1
	生徒指導論	2前	2								1
	教育相談 (カウンセリングを含む)	2後	2								1
小計(5科目)	-	8									4
関与する実践科目	養護実習 (事前事後指導を含む)	4通	5					1			
	教職実践演習 (養護教諭)	4後	2					1			
	小計(2科目)	-	7					1			
合計(133科目)	-	110	142		10	5	8	2	6		55
卒業要件及び履修方法											
共通教育科目から22単位以上、専門教育科目から102単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通教育科目から8単位、専門基礎科目から28単位、専門実践科目から64単位、統合科目から10単位を修得すること。 (履修科目の登録の上限: 60単位)											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・共通教育科目
- ・教育課程充実の理由により、「宗教と人生」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「兵庫大学の学びと和」を科目追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「実用英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「韓国語（初級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「韓国語（中級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「コンピュータ演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「コンピュータグラフィックスの基礎」を科目追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「文学」の兼任教員を変更。
- ・教育内容充実の理由により、「建築デザインと地域」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「地域と文化財」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「地域資料を読む」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「現代社会の理解」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「身のまわりの科学」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）」の兼任教員を変更。
- ・専門教育科目
- ・担当教員辞退の理由により、「生物基礎」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「化学基礎」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退、教育内容充実の理由により、「栄養学（食品学を含む）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・関連する教育内容を十分に理解させた上で履修させるため、配当年次を以下のとおり変更。
  - ・「ヘルスアセスメント」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
  - ・「看護技術論Ⅰ（生活援助技術）」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・関連する科目と連動して履修させるため、配当年次を以下のとおり変更。
  - ・「免疫・微生物学」の配当年次を「2後」から「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「在宅看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授2」「講師1」に変更。
  - ・「在宅看護実習」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授2」「講師1」「助手1」に変更。
- ・久井准教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「保健医療福祉行政論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
  - ・「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
  - ・「健康教育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
  - ・「公衆衛生看護学活動展開論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
  - ・「産業保健論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
  - ・「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助手1」から「教授1」「講師」に変更。（助手退職に伴う変更を含む）
- ・「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助手1」から「教授1」「講師」に変更。（助手退職に伴う変更を含む）
- ・「公衆衛生看護学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・瀧本茂子准教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」から「教授1」「助教1」に変更。
  - ・「老年看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授0」「助教1」に変更。
  - ・「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授0」「助教1」「助手2」に変更。
  - ・「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授0」「助教1」「助手2」に変更。
- ・小島賢子准教授退職の理由により、森田寛子教授が就任、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「小児看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
  - ・「小児看護援助論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「小児看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」「助手1」から「教授1」「助手1」に変更。
- ・掛川静代助教退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「看護技術論Ⅰ（生活援助技術）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教0」「助手5」に変更。
  - ・「看護技術論Ⅱ（診療補助技術）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教0」「助手5」に変更。
  - ・「看護技術論Ⅲ（看護過程）」の専任教員等の配置を「助教1」を「助教0」に変更。
- ・廣田真里助教の昇任の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教3」「助手9」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」に変更。（掛川助教退職、助手辞退に伴う変更を含む）
  - ・「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教3」「助手9」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」に変更。（掛川助教退職、助手辞退に伴う変更を含む）
  - ・「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
  - ・「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
  - ・「成人看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
  - ・「成人看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
- ・新規採用及び担当教員辞退の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師9」「助教3」から「教授10」「准教授2」「講師9」「助教1」に変更。
  - ・「看護研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師9」「助教2」から「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」に変更。
  - ・「看護研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師9」「助教3」から「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」に変更。
  - ・「看護の統合と実践実習」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授5」「講師8」「助教2」「助手5」から「教授6」「准教授2」「講師8」「助教1」「助手5」に変更。
- ・科目名称表現方法統一の理由により、授業科目の名称を以下のとおり変更。
  - ・「公衆衛生学（疫学含）」→「公衆衛生学（疫学を含む）」
  - ・「看護技術論Ⅰ（生活技術援助）」→「看護技術論Ⅰ（生活援助技術）」
  - ・「看護技術論Ⅱ（診療技術援助）」→「看護技術論Ⅱ（診療補助技術）」
  - ・「成人看護援助論Ⅰ（生命危機状態にある人）」→「成人看護援助論Ⅰ（慢性期）」
  - ・「成人看護援助論Ⅱ（常態の維持・増進が困難な人）」→「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」
  - ・「災害看護学（災害保健を含む）」→「災害看護学」
  - ・「看護研究Ⅰ（基礎編）」→「看護研究Ⅰ」
  - ・「看護研究Ⅱ（応用編）」→「看護研究Ⅱ」

【平成30年度】

《共通教育科目》

- ・教育課程充実の理由により、「宗教と人生」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「兵大京都学」を追加。
- ・教育内容充実の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「実用英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・履修対象者減の理由により、「韓国語（初級）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・履修対象者減の理由により、「韓国語（中級）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「芸術」を削除。
- ・教育課程充実の理由により、「地域と文化財」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「現代社会の理解」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「プログラミング入門」の科目を追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」の教員配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「入門ボランティア」を追加。

《専門教育科目》

- ・教育内容充実の理由により、「家族関係論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「成人看護援助Ⅱ（慢性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・教員異動の理由により、「環境保健学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「臨床病理病態学Ⅳ（周産期・小児科系）」の専任教員等の配置を「講師1」「兼1」から「講師2」「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「成人看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師4」「助教1」から「教授1」「准教授1」「講師5」「助教1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「精神保健」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「保健医療福祉行政論」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「看護理論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「看護倫理」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「精神看護学概論」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康相談活動の理論と実践」の兼任教員を変更。
- ・関連する教育内容を十分に理解させた上で履修させるため、配当年次を以下のとおり変更。
  - ・「看護技術論Ⅲ（看護過程）」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
  - ・「成人看護援助Ⅰ（急性期）」の配当年次を「3前」から「2後・3前」に変更。
  - ・「成人看護援助Ⅱ（慢性期）」の配当年次を「3前」から「2後・3前」に変更。
  - ・「看護倫理」の配当年次を「4前」から「2前」に変更。
  - ・「健康教育論」の配当年次を「3前」から「2前」に変更。
  - ・「看護研究Ⅰ」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
  - ・「国際看護学Ⅰ」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
  - ・「国際看護学Ⅱ」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
  - ・「疫学」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「看護管理学」の配当年次を「3前」から「4前」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「看護管理学」の兼任・兼任教員が0から1に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「成人看護援助Ⅰ（急性期）」の配当年次を「3前」から「2前」に変更。
- ・小野晴子教授定年退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「看護管理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
  - ・「老年看護学概論」「老年看護援助論」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を変更し、後任として肥後すみ子教授が就任。

- ・新田幸子教授定年退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「看護教育学」の専任教員等の配置を新田幸子教授から、肥後すみ子教授に変更。
  - ・「在宅看護学」の専任教員を新田幸子教授から高見千恵教授に変更。
  - ・「在宅看護援助論」の専任教員の配置を「教授2」「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
  - ・「在宅看護実習」の専任教員の配置を「教授2」「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・福川京子教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「保健医療福祉行政論」の専任教員の配置を福川京子教授から尾崎八代准教授に変更。
  - ・「公衆衛生看護学概論」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
  - ・「公衆衛生看護学活動展開論」の専任教員の配置を「教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
  - ・「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
  - ・「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
  - ・「公衆衛生看護学特論」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・柴田順子講師退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「学校保健概論」「学校保健活動論」「学校保健演習」「養護概説」「教職実践演習（養護教諭）」「養護実習（事前事後指導を含む）」の専任教員等の配置を変更し、後任として細川愛美講師が就任。
- ・西原おかり助教退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教5」に変更。（助手辞退を含む）
  - ・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教5」に変更。（助手辞退を含む）
  - ・「老年看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「助手1」に変更。
  - ・「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「助手2」に変更。
  - ・「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「助手2」に変更。
- ・新規採用及び担当教員辞退の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
  - ・「基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授2」「講師9」「助教1」から「教授8」「准教授3」「講師10」「助教1」に変更。
  - ・「看護研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」から「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」に変更。
  - ・「看護研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」から「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」に変更。
  - ・「看護の統合と実践実習」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授2」「講師8」「助教1」「助手5」から「教授6」「准教授2」「講師9」「助教1」に変更。

《教職に関する科目》

- ・担当教員辞退の理由により、「教職概論」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「教育課程論（道徳・特別活動を含む）」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「生徒指導論」の兼任教員を変更。
- ・柴田順子講師退職の理由により、「教職実践演習（養護教諭）」「養護実習（事前事後指導を含む）」の専任教員等の配置を変更し、後任として細川愛美講師が就任。

【令和元年度】

《共通教育科目》

- ・教育内容充実の理由により、「地域と仏教」を科目追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「実用英語Ⅰ」の教員の配置を「教授2」「兼3」から「教授2」「兼2」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「実用英語Ⅱ」の教員の配置を「教授2」「兼3」から「教授2」「兼2」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「文学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「地域と文化財」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本の伝統文化「将棋」を学ぶ」を科目追加。
- ・教育課程充実の理由により、「哲学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「現代社会の理解」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「生物学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「私のためのキャリア設計」の配当年次を「1前」から「1前」「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「私のためのキャリア設計」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「ヒューマンサービスとマネジメント」を科目追加。

《専門教育科目》

- ・教育内容充実の理由により、「保健医療福祉行政論」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・科目名称表現方法統一及び教育課程充実の理由により、「看護教育学」を「総合看護」に名称変更、配当年次を「4前」から「4後」に変更。
- ・教員辞退の理由により、「看護倫理」の教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「看護管理学」の配当年次を「3前」から「4前」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「成人看護学概論」の教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「老年看護学概論」の教員の配置を「教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「母性看護援助論」の教員の配置を「教授1」「講師2」「助手1」から「教授1」「講師2」に変更。
- ・教員辞退、採用の理由により、「母性看護学実習」の教員の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授1」「講師2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「小児看護援助論」「小児看護学実習」の教員の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助手1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「在宅看護援助論」の教員の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」「講師2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「在宅看護実習」の教員の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」「講師2」に変更。
- ・教員辞退の理由により、「公衆衛生看護学概論」の教員の配置を「准教授1」「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「健康教育論」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「看護の統合と実践演習」の配当年次を「3後」から「4前」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「特別支援教育論」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「総合看護」の担当教員を宮島多映子教授から柴山健三教授に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「保健医療福祉行政論」の担当教員を尾崎八代准教授から三徳和子教授に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「公衆衛生看護学概論」の担当教員を尾崎八代准教授、石井久仁子講師から三徳和子教授に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「小児看護援助論」「小児看護学実習」の担当教員に根本順子准教授を追加。
- ・西山忠博講師の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
  - ・「ヘルスアセスメント」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」に変更。
  - ・「看護技術論Ⅰ（生活援助技術）」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」に変更。
  - ・「看護技術論Ⅱ（診療補助技術）」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」に変更。
  - ・「看護技術論Ⅲ（看護過程）」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」に変更。
  - ・「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手5」から「教授1」「准教授1」「助手4」に変更。
- ・肥後すみ子教授の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
  - ・「総合看護」の教員の配置を、肥後すみ子教授から柴山健三教授に変更。
  - ・「老年看護学概論」の教員の配置を肥後すみ子教授から高見千恵教授に変更。
  - ・「老年看護援助論」の教員配置を「教授1」「助手1」から「講師2」「助手2」に変更。
  - ・「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の教員配置を「教授1」「助手2」から「講師2」「助手2」に変更。
- ・石田宜子教授の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
  - ・「看護倫理」の教員配置を、石田宜子教授から石井俊行准教授に変更。
  - ・「成人看護学概論」「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」「成人看護学実習Ⅰ」「成人看護学実習Ⅱ」の教員配置を柴山健三教授に変更。
    - ・「健康教育論」の教員配置を伊藤純教授に変更。
  - ・大塚千秋講師、和田知世講師、鷲野孝子助教の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
    - ・「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」「成人看護学実習Ⅰ」「成人看護学実習Ⅱ」の教員配置を石井准教授に変更。
      - ・「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の教員配置を「教授1」「准教授1」「講師5」から「教授1」「准教授2」「講師3」に変更。
      - ・「成人看護学実習Ⅰ」「成人看護学実習Ⅱ」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師5」「助教1」から「教授1」「准教授2」「講師3」に変更。
  - ・天本都講師の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
    - ・「臨床病理病態学Ⅳ（周産期・小児科系）」「母性看護学実習」の教員配置を、天本都講師から小島光華講師に変更。
  - ・藤後栄一助教の昇任の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
    - ・「精神看護学概論」の教員配置を「教授1」から「教授1」「兼任1」から「教授1」「助教1」「兼任1」に変更。
    - ・「精神看護援助論」の教員配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。
    - ・「精神看護学実習」の教員配置を「教授1」「助手1」から「教授1」「助教1」に変更。
  - ・新規採用及び担当教員辞退の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
    - ・「基礎ゼミ」の教員の配置を「教授8」「准教授3」「講師10」「助教1」から「教授10」「准教授5」「講師8」「助教1」に変更。
    - ・「看護研究Ⅰ」の教員の配置を「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」から「教授10」「准教授5」「講師10」「助教1」に変更。
    - ・「看護研究Ⅱ」の教員の配置を「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」から「教授10」「准教授5」「講師10」「助教1」に変更。
    - ・「看護の統合と実践実習」の教員の配置を「教授6」「准教授2」「講師9」「助教1」から「教授5」「准教授3」「講師9」「助教1」に変更。



## 【令和2年度】

### 《共通教育科目》

- ・担当教員辞退の理由により、「実用英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「実用英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
- ・担当教員辞退、採用の利用により、「実用英語Ⅲ」の兼任担当教員を変更。
- ・教育課程充実の理由により、「ファッション入門」を科目追加。
- ・教育課程見直しの理由により、「法と社会」を削除。
- ・教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「兼2」へ変更。

### 《専門教育科目》

- ・教育課程見直しの理由により、「人間関係論（カウンセリングを含む）」を削除。
- ・教育課程見直しの理由により、「生化学」を削除。
- ・教員辞退の理由により、「生物基礎」の兼任担当教員を変更。
- ・教員辞退の理由により、「科学基礎」の兼任担当教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「栄養学（食品学を含む）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
- ・富安俊子教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更した。
  - ・「母性看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師2」「助手1」に変更。
  - ・「母性看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1」「講師2」から「講師2」「助手1」に変更。
- ・宮島多咲子教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更した。
  - ・「看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」へ変更。
  - ・「ヘルスアセスメント」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授1」「兼1」へ変更。
  - ・「看護技術Ⅰ（生活援助技術）」「看護技術Ⅱ（診療補助技術）」「看護技術Ⅲ（看護過程）の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「准教授1」に変更。
  - ・「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助手4」から「准教授1」「助教1」「助手4」に変更。
- ・伊藤純教授退職に伴い、後任として藤原周一准教授を採用し、専任教員等の配置を以下のとおり変更した。
  - ・「形態機能論Ⅰ」「形態機能論Ⅱ」「臨床病理病態Ⅰ（内科系）」「臨床病理病態Ⅱ（内科系）」「健康教育論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
  - ・「疫学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・尾崎八代准教授退職に伴い、後任として三徳和子教授が科目を担当し、専任教員等の配置を以下のとおり変更した。
  - ・「公衆衛生看護学活動展開論」「公衆衛生看護学実習Ⅰ」「公衆衛生看護学実習Ⅱ」「公衆衛生看護学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・廣田真里講師の退職に伴い、白神佐知子教授が（准教授から教授に昇任）したことにより、専任教員の配置を以下のとおり変更した。成人看護学においては、担当教員を急性期と慢性期にそれぞれ配置した。
  - ・「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授2」に変更。
  - ・「成人看護学実習Ⅰ（急性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「講師3」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
  - ・「成人看護学実習Ⅱ（慢性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「講師3」から「教授1」「講師1」に変更。
  - ・「成人看護学実習Ⅲ」「成人看護学実習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「講師3」から「教授2」「准教授1」「講師2」に変更。
- ・松村あゆみ講師の退職に伴い、塩霧都恵准教授（講師から准教授に昇任）が科目を担当し、専任教員等の配置を以下のとおり変更した。
  - ・「老年看護学概論」の担当教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授2」「准教授1」へ変更。
  - ・「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師2」「助手2」から「准教授1」「助手2」に変更。
  - ・「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」「助手2」から「准教授1」「講師1」「助手2」に変更。
  - ・「リスクマネジメント論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容（精神看護分野）充実の理由により、田中諭助教を採用。
  - ・「精神看護学概論」の専任教員等の配置を、「教授1」「助教1」「兼1」から「教授1」「助教2」「兼1」へ変更。
  - ・「精神看護学実習Ⅰ」「精神看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授1」「助教1」から「教授1」「助教1」へ変更。
  - ・「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助手4」から「准教授1」「助教1」「助手4」へ変更。
- ・教育内容充実のため、長弘千恵教授、原田広枝教授、羽場千佐子講師を採用した。
  - ・担当教員の配置の変更により、「小児看護学実習Ⅰ」「小児看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「助手1」に変更。
  - ・新規採用及び担当教員辞退の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
    - ・「基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師8」「助教1」から「教授4」「准教授4」「講師7」「助教2」へ変更。
    - ・「看護研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師8」「助教1」から「教授10」「准教授5」「講師8」「助教1」へ変更。
    - ・「看護研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師10」「助教1」から「教授10」「准教授5」「講師7」「助教2」へ変更。
    - ・「看護の統合と実践実習」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授4」「講師8」「助教1」から「教授4」「准教授4」「講師6」「助教2」へ変更。

### 《教育の基礎的理解に関する科目》

- ・教育課程見直しの理由により、「教育心理学」の配当年次を「2後」から「1後」へ変更。
- ・教育課程見直しの理由により、「特別支援教育論」の配当年次を「3前」から「2後」へ変更。
- ・教育課程見直しの理由により、「教育課程論」の配当年次を「2後」から「2前」へ変更。
- ・教育課程見直しの理由により、「道徳教育の理論」の配当年次を「3前」から「2後」へ変更。
- ・教育課程見直しの理由により、「教育相談（カウンセリングを含む。）」の配当年次を「1後」から「2後」へ変更。
- ・教育課程見直しの理由により、「養護実習（事前事後指導を含む）」を「4後」から「4通」に変更。
- ・教育課程見直しの理由により、「教育実践演習（養護教諭）」を「4通」から「4後」に変更。

【令和3年度】

<p>《共通教育科目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程見直しの理由により、「実用英語Ⅲ」を削除。</li> <li>・教育課程充実の理由により、「生命倫理学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。</li> <li>・教育課程見直しの理由により、「私のためのキャリア設計」の配当年次を「1前」「1後」から「1前」に変更し、授業内容充実のために「選択1単位」から「選択2単位」に変更。</li> <li>・堀内好浩教授退職に伴い、「私のためのキャリア設計」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。</li> </ul> <p>《専門教育科目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育内容充実の理由により、「家族関係論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。</li> <li>・担当教員辞退の理由により、「精神保健」の兼任担当教員を変更。</li> <li>・担当教員辞退の理由により、「化学基礎」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。</li> <li>・中村朋子准教授昇任の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「臨床病理病態学Ⅳ（周産期・小児科系）」の教員配置を、「講師2」「兼1」から「准教授1」「講師1」に変更。</li> </ul> </li> <li>・教員辞退の理由により、「ヘルスアセスメント」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「兼1」から「教授2」「准教授1」「助手5」に変更。</li> <li>・教育内容充実の理由により、「看護技術論Ⅰ（生活援助技術）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「助手3」「兼1」に変更。</li> <li>・教育内容充実の理由により、「看護技術論Ⅱ（診療補助技術）」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼1」から「准教授1」「助手5」「兼1」に変更。</li> <li>・教育内容充実の理由により、「看護技術論Ⅲ（看護課程）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」から「助手2」に変更。</li> <li>・教育課程見直しの理由により、「看護教育学」の配当年次を「4前」から「4後」に変更。</li> <li>・教員辞退の理由により、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。</li> <li>・教育課程充実の理由により、「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の配当年次を「2後・3前」から「3前」に変更。</li> <li>・教員辞退の理由により、「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「講師1」「助手1」に変更。</li> <li>・大植崇准教授昇任の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」「准教授2」「助手1」に変更。</li> <li>・「成人看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師2」から「教授1」「講師1」「助手1」に変更。</li> <li>・「成人看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師2」から「教授1」「准教授2」に変更。</li> <li>・「災害看護学」「国際看護学Ⅰ」「国際看護学Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。</li> </ul> </li> <li>・教員辞退の理由により、「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授1」「兼1」に変更。</li> <li>・教員辞退の理由により、「老年看護学」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授1」「兼1」に変更。</li> </ul> <p>・看護学研究科に篠原ひとみ教授を採用した。また、中村朋子准教授昇任の理由により専任教員等の配置を以下のとおり変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「母性看護学概論」の専任教員等の配置を「講師2」「兼1」から「兼1」に変更。</li> <li>・「母性看護援助論」「母性看護学実習」の専任教員等の配置を「講師2」「兼1」から「准教授1」「講師1」「兼1」に変更。</li> </ul> <p>・田中諭助教退職に伴い、専任教員等の配置を以下のとおり変更した。（後任採用なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授1」「助手5」に変更。</li> <li>・「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授1」「助手6」に変更。</li> <li>・「精神看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授1」「助教1」「兼1」に変更。</li> <li>・「精神看護援助論」「精神看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授1」「助教1」に変更。</li> </ul> <p>・教育内容充実の理由により、「在宅看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「講師2」から「教授2」「講師2」に変更。</p> <p>・教育内容充実の理由により、「在宅看護実習」の専任教員等の配置を「教授1」「講師2」から「教授1」「講師2」「助手1」に変更。</p> <p>・教員辞退の理由により、「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」に変更。</p> <p>・細川愛美講師が健康科学部健康システム学科へ異動の理由により、「学校保健概論」「学校保健活動論」「学校保健演習」「養護概説」「養護実習（事前事後指導を含む）」「教職実践演習（養護教諭）」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼1」に変更。</p> <p>・新規教員及び担当教員辞退の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎ゼミ」の教員配置を「教授4」「准教授4」「講師7」「助教2」から「教授4」「准教授6」「講師6」「助教1」「兼1」に変更。</li> <li>・「看護研究Ⅰ」の専任教員等の配置を、「教授10」「准教授5」「講師8」「助教1」から「教授8」「准教授7」「講師6」「助教1」「兼1」に変更。</li> <li>・「看護研究Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授10」「准教授5」「講師7」「助教2」から「教授8」「准教授7」「講師6」「助教1」「兼1」に変更。</li> <li>・「看護の統合と実践実習」の専任教員等の配置を、「教授4」「准教授4」「講師6」「助教2」から「教授4」「准教授6」「講師4」「助教1」「助手4」「兼1」に変更。</li> </ul> <p>・教育内容充実の理由により荒金英里子講師を採用した。専任教員等の配置を以下のとおり変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公衆衛生看護学活動展開論」「公衆衛生看護学特論」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「講師2」に変更。</li> <li>・「産業保健論」の専任教員等の配置を、「講師1」から「講師2」に変更。</li> <li>・「公衆衛生看護学実習Ⅰ」「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授1」「講師1」から「教授1」「講師2」に変更。</li> </ul>
---

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
60	60	0	120	61	72	0	133	
				[ 1 ]	[ 12 ]	[ - ]	[ 13 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	入門ボランティア	2	1	一般	選択	コロナ禍によりフィールドワークが実施できないため、代替措置無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	芸術	2	1	一般	選択	共通教育科目のカリキュラム改正による、代替措置なし
2	法と社会	2	1	一般	選択	同類の教授内容である授業科目の精査による、代替措置なし
3	実用英語Ⅲ	2	2	一般	選択	同類の教授内容である授業科目の精査による、代替措置なし
4	人間関係論 (カウンセリングを含む)	2	2	専門	選択	同類の教授内容である授業科目の精査による、代替措置なし
5	生化学	2	1	専門	選択	同類の教授内容である授業科目の精査による、代替措置なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」</p> <p>「入門ボランティア」は配当年次が1年生であるが、コロナ禍の影響により、フィールドワークを行うことができなくなったため、未開講である。次年度以降も開講を予定しており、学生の履修等への影響はない。</p> <p>「芸術」は兼任講師辞退に伴い科目を廃止した。共通教育科目の科目区分である歴史と文化に属する選択科目であり、学生の履修等への影響はない。</p> <p>「法と社会」は同類の授業内容である授業科目の精査に伴い廃止した。社会や文化について理解し、法律に関する知識を教授する授業科目として「現代社会の理解」の科目を配当しているため、学生の履修等への影響はない。</p> <p>「実用英語Ⅲ」は同類の授業内容である授業科目の精査に伴い廃止した。英語力を身につける授業科目として「英語」、「実用英語Ⅰ」、「実用英語Ⅱ」の科目を配当しているため、学生の履修等への影響はない。</p> <p>「生化学」は同類の教授内容である授業科目の精査に伴い廃止した。生命活動を営むための基本的な原理と代謝機序を教授する授業科目として「科学基礎」及び「生物基礎」の科目を配当しているため、学生の履修等への影響はない。</p> <p>「人間関係論（カウンセリングを含む）」は同類の教授内容である授業科目の精査に伴い廃止した。人間関係の形成に関する知識と能力等を教授する授業科目として「家族関係論」及び「心理学」の科目を配当しているため、学生の履修等への影響はない。</p> <p>「学生への周知方法」</p> <p>学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{120} = \boxed{5}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	兵庫大短期大学部と共用 使用教室の精査に伴う変更(元)		
	校舎敷地	0 m <sup>2</sup>	72,973 73,964 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	72,973 73,964 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	0 m <sup>2</sup>	9,600 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	9,600 m <sup>2</sup>			
	小計	0 m <sup>2</sup>	82,573 83,564 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	82,573 83,564 m <sup>2</sup>			
	その他	0 m <sup>2</sup>	10,706 9,715 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	10,706 9,715 m <sup>2</sup>			
	合計	0 m <sup>2</sup>	93,279 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	93,279 m <sup>2</sup>			
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	兵庫大短期大学部と共用 使用教室精査のため(元)			
	1333.93m <sup>2</sup> 1,796m <sup>2</sup> 2,563m <sup>2</sup>	27951.72m <sup>2</sup> 27,297m <sup>2</sup> 28,301m <sup>2</sup>	1773.35m <sup>2</sup> 1,967m <sup>2</sup>	31,059m <sup>2</sup> 32,831m <sup>2</sup>				
	( 1333.93m <sup>2</sup> )	( 27951.72m <sup>2</sup> )	( 1773.35m <sup>2</sup> )	( 31,059m <sup>2</sup> )				
	( -1,796m <sup>2</sup> )	( -27,297m <sup>2</sup> )	( -1,967m <sup>2</sup> )	( -32,831m <sup>2</sup> )				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	兵庫大短期大学部と共用 看護学研究科、現代ビジネス研究科設置に伴う教室等見直しのため(2)		
	29室 27	28室 26	34室 30	4室 (補助職員 3人)	1室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数			平成30年4月 専任教授1名、准教授1名を新規採用のため(30) 教員組織の変更に伴う配置変更(元) 教員組織の変更に伴う配置変更(2)		
	看護学部 看護学科		25	26	27			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕冊	学術雑誌 〔うち外国書〕種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	学部単位での特定不能のため、大学全体の図書充実のため(30) 図書見直しのため(元) 看護学研究科、現代ビジネス研究科設置に伴う図書見直しのため(2) <b>要入人数変更による変動のため(3)</b>
	看護学部	55,058 55,092 (6,910) 54,535 (6,833) 54,283 (6,819) 53,557 (6,741)	1,699 [214] 1,689 (213) 1,682 (213) 1,756 (256)	3 [1] 7 [2] 3 [1] 21 [18]	6,005 6,962 6,987 6,986 6,978	5,873 6,182 6,808	58 288 230	
		55,058 55,092 (6,910) 54,535 (6,833) 54,283 (6,819) 53,557 (6,741)	1,699 [214] 1,689 (213) 1,682 (213) 1,756 (256)	3 [1] (7 [2]) (3 [1]) (9 [6])	( 6,005 ) ( 6,962 ) ( 5,987 ) ( 5,985 ) ( 5,972 )	( 5,873 ) ( 6,182 ) ( 5,808 )	( 58 ) ( 288 ) ( 230 )	
	計	55,058 55,092 (6,910) 54,535 (6,833) 54,283 (6,819) 53,557 (6,741)	1,699 [214] 1,689 (213) 1,682 (213) 1,756 (256)	3 [1] 7 [2] 3 [1] 21 [18]	6,005 6,962 6,986 6,978	5,873 6,182 6,808	58 288 230	
		55,058 55,092 (6,910) 54,535 (6,833) 54,283 (6,819) 53,557 (6,741)	1,699 [214] 1,689 (213) 1,682 (213) 1,756 (256)	3 [1] (7 [2]) (3 [1]) (9 [6])	( 6,005 ) ( 6,962 ) ( 5,987 ) ( 5,985 ) ( 5,972 )	( 5,873 ) ( 6,182 ) ( 5,808 )	( 58 ) ( 288 ) ( 230 )	
	(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数				
1,829m <sup>2</sup>		270	151,200					
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,286m <sup>2</sup>	テニスコート4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員1人当り研究費等	480千円	480千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,750千円 1,900千円	第2年次 1,600千円 1,550千円	第3年次 1,550千円	第4年次 1,550千円	第5年次 -千円	第6年次 -千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、入学検定料、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	兵庫 大 学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
≪AC対象学部等≫ 看護学部 看護学科	4	90	-	360	学士(看護学)	1.10	1.10	-	平成29年度		
≪既設学部等≫ 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	4	100	3年次2	444	学士(現代ビジネス)	0.94	1.01	令和2年度	平成28年度	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地	令和2年度より入学定員減(△20)
経済情報学部 経済情報学科	4	-	-	-	学士(経済情報)	-	-	-	平成7年度		平成28年より学生募集停止
健康科学部 栄養マネジメント学科	4	80	3年次5	330	学士(栄養学)	0.82	0.73	-	平成13年度		
健康システム学科	4	40	-	160	学士(健康科学)	1.01	0.87	-	平成13年度		
看護学科	4	-	-	-	学士(看護学)	-	-	-	平成18年度		平成29年より学生募集停止
生涯福祉学部 社会福祉学科	4	40	-	140	学士(社会福祉学)	1.00	0.90	-	平成20年度		令和2年度より入学定員増(10)
こども福祉学科	4	50	3年次5	210	学士(こども福祉)	0.92	1.14	-	平成25年度		
大学全体	4	400	12	1644	-	0.95	0.96	-	-		
大学の名称	兵庫 大 学 大 学 院						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
(修士・博士前期課程) ≪AC対象学部等≫ 現代ビジネス研究科 現代ビジネス専攻	2	5	-	10	修士(現代ビジネス)	1.00	1.40	-	令和2年度	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地	
看護学研究科 看護学専攻	2	6	-	12	修士(看護学)	0.24	0.16	-	令和2年度		
≪既設学部等≫ 経済情報研究科 経済情報専攻	2	-	-	-	修士(経済情報)	-	-	-	平成11年度		令和2年度より学生募集停止
大学院全体 (修士・博士前期課程)	2	11	-	22	-	0.58	0.72	-	-		
(博士後期課程) ≪AC対象学部等≫ 看護学研究科 看護学専攻	3	4	-	12	博士(看護学)	1.50	0.75	-	令和2年度	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地	
大学院全体 (博士後期課程)	3	4	-	12	-	1.50	0.75	-	-		
大学院全体	2・3	15	-	34	-	0.83	0.73	-	-		

大学の名称	兵庫大学短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
保育科第一部	2	100	-	200	短期大学士(保育)	0.73	0.66	-	昭和32年度	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地	
保育科第三部	3	80	-	240	短期大学士(保育)	1.01	0.87	-	昭和46年度		
短大全体	2・3	180	-	440	-	0.91	0.75	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。









専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名								
専任	准教授	久井 志保 (51) <平成29年4月> 博士(保健学)	保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 健康教育論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習 公衆衛生看護学活動展開論 産業保健論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論																				
専任	准教授	大橋 由佳 (49) <平成29年4月> 修士(人間科学)	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活技術援助) 看護技術論Ⅱ(診療技術援助) 看護技術論Ⅲ(看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	准教授	大橋 由佳 (50) <平成29年4月> 修士(人間科学)	看護技術論Ⅰ(生活援助技術) 看護技術論Ⅱ(診療補助技術) 看護技術論Ⅲ(看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	准教授	大橋 由佳 (51) <平成29年4月> 修士(人間科学)	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活援助技術) 看護技術論Ⅱ(診療補助技術) 看護技術論Ⅲ(看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	准教授	大橋 由佳 (52) <平成29年4月> 修士(人間科学)	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活援助技術) 看護技術論Ⅱ(診療補助技術) 看護技術論Ⅲ(看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	准教授	大橋 由佳 (53) <平成29年4月> 修士(人間科学)	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活援助技術) 看護技術論Ⅱ(診療補助技術) 看護技術論Ⅲ(看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習				
				専任	准教授	馬崎 八代 (83) <平成30年4月> 修士(看護学)	保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 基礎ゼミ 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論					専任	准教授	馬崎 八代 (84) <平成30年4月> 修士(看護学)	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論								
								専任	准教授	石井 俊行 (60) <平成31年4月> 修士(保健学)	看護倫理 成人看護学概論 成人看護学実習Ⅰ(急性期) 成人看護学実習Ⅱ(慢性期) 成人看護学実習Ⅲ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習		専任	准教授	石井 俊行 (61) <平成31年4月> 修士(保健学)	看護倫理 成人看護学概論 成人看護学実習Ⅰ(急性期) 成人看護学実習Ⅱ(慢性期) 成人看護学実習Ⅲ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習		専任	准教授	石井 俊行 (62) <平成31年4月> 修士(保健学)	看護倫理 成人看護学概論 成人看護学実習Ⅰ(慢性期) 成人看護学実習Ⅱ(急性期) 成人看護学実習Ⅲ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習		
								専任	准教授	榎本 順子 (51) <平成31年4月> 博士(臨床教育学)	小児看護学概論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習		専任	准教授	榎本 順子 (52) <平成31年4月> 博士(臨床教育学)	小児看護学概論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習		専任	准教授	榎本 順子 (53) <平成31年4月> 博士(臨床教育学)	小児看護学概論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習		
												専任	准教授	藤原 周一 (39) <令和2年4月> 修士(医学)	形態学概論Ⅰ 形態学概論Ⅱ 臨床病理学Ⅰ(内科系) 臨床病理学Ⅱ(内科系) 健康教育論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ		専任	准教授	藤原 周一 (40) <令和2年4月> 修士(医学)	形態学概論Ⅰ 形態学概論Ⅱ 臨床病理学Ⅰ(内科系) 臨床病理学Ⅱ(内科系) 健康教育論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			
専任	講師	柴田 順子 (63) <平成29年4月> 准学士	学校保健概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 学校保健活動論 学校保健講習 養護概論 教職実践講習 (養護教諭) 養護実習 (事前事後指導を含む)	専任	講師	柴田 順子 (64) <平成29年4月> 准学士	学校保健概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 学校保健活動論 学校保健講習 養護概論 教職実践講習 (養護教諭) 養護実習 (事前事後指導を含む)	兼任	講師	柴田 順子 (65) <平成29年4月> 准学士	臨床相談理論と実践	兼任	講師	柴田 順子 (66) <平成29年4月> 准学士	臨床相談理論と実践	兼任	講師	柴田 順子 (67) <平成29年4月> 准学士	臨床相談理論と実践	兼任	講師	柴田 順子 (68) <平成29年4月> 准学士	臨床相談理論と実践

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専任	講師	天本 都 ( 62 ) <平成29年4月> 修士(医療安全看護学)	母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	講師	天本 都 ( 63 ) <平成29年4月> 修士(医療安全看護学)	母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	天本 都 ( 64 ) <平成29年4月> 修士(医療安全看護学)	母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	天本 都 ( 66 ) <平成29年4月> 修士(医療安全看護学)	母性看護援助論 母性看護学実習				
専任	講師	塩 霧都恵 ( 61 ) <平成29年4月> 修士(医療安全管理学)	成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習	専任	講師	塩 霧都恵 ( 62 ) <平成29年4月> 修士(医療安全管理学)	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習	専任	講師	塩 霧都恵 ( 63 ) <平成29年4月> 修士(医療安全管理学)	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習	専任	講師	塩 霧都恵 ( 64 ) <平成29年4月> 修士(医療安全管理学)	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習	専任	講師	塩 霧都恵 ( 65 ) <平成29年4月> 修士(医療安全管理学)	成人看護援助論
専任	講師	東 久子 ( 55 ) <平成29年4月> 修士(人間学)	在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	講師	東 久子 ( 56 ) <平成29年4月> 修士(人間学)	在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	東 久子 ( 57 ) <平成29年4月> 修士(人間学)	在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	東 久子 ( 58 ) <平成29年4月> 修士(人間学)	在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	東 久子 ( 59 ) <平成29年4月> 修士(人間学)	在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専任	講師	西山 忠博 ( 51 ) <平成29年4月> 修士(看護学)	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活技術援助) 看護技術論Ⅱ (診療技術援助) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	講師	西山 忠博 ( 52 ) <平成29年4月> 修士(看護学)	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	西山 忠博 ( 53 ) <平成29年4月> 修士(看護学)	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	兼任	講師	西山 忠博 ( 55 ) <平成29年4月> 修士(看護学)	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅱ (診療補助技術)				
専任	講師	中村 朋子 ( 51 ) <平成29年4月> 修士(学校教育学)	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	講師	中村 朋子 ( 52 ) <平成29年4月> 修士(学校教育学)	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	中村 朋子 ( 53 ) <平成29年4月> 修士(学校教育学)	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	中村 朋子 ( 54 ) <平成29年4月> 修士(学校教育学)	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	中村 朋子 ( 55 ) <平成29年4月> 修士(学校教育学)	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護の統合と実践実習
専任	講師	大塚 千秋 ( 50 ) <平成29年4月> 修士(保健看護学)	成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	講師	大塚 千秋 ( 51 ) <平成29年4月> 修士(保健看護学)	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	大塚 千秋 ( 52 ) <平成29年4月> 修士(保健看護学)	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	講師	大塚 千秋 ( 56 ) <平成29年4月> 修士(学校教育学)	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習				





専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	藤後 栄一 (42) <平成31年4月> 修士(応用情報科学)	精神看護学概論 精神看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	助教	藤後 栄一 (43) <平成31年4月> 修士(応用情報科学)	精神看護学概論 精神看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	助教	藤後 栄一 (44) <平成31年4月> 修士(応用情報科学)	精神看護学概論 精神看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	助教		
兼任	教授	竹内 一夫 (71) <平成29年4月> 修士(社会学)	社会福祉論 人間関係論 (カウンセリング含む) 家族関係論	兼任	教授	竹内 一夫 (72) <平成29年4月> 修士(社会学)	社会福祉論 人間関係論 (カウンセリング含む) 家族関係論								
兼任	教授	真鍋 祐之 (63) <平成29年4月> 博士(栄養学)	栄養学 (食品学を含む)												
兼任	教授	大平 曜子 (58) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育心理学	兼任	教授	大平 曜子 (59) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育心理学	兼任	教授	大平 曜子 (60) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育心理学	兼任	教授	大平 曜子 (61) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育心理学
兼任	教授	三宅 一部 (59) <平成29年4月> 修士(体育学)	健康・スポーツ科学Ⅰ (講義) 健康・スポーツ科学Ⅱ (演習) 健康・スポーツ科学Ⅲ (演習)	兼任	教授	三宅 一部 (60) <平成29年4月> 修士(体育学)	健康・スポーツ科学Ⅰ (講義)	兼任	教授	三宅 一部 (61) <平成29年4月> 修士(体育学)	健康・スポーツ科学Ⅰ (講義)				
兼任	教授	吉原 恵子 (59) <平成29年4月> 博士(教育社会学)	社会学	兼任	教授	吉原 恵子 (60) <平成29年4月> 博士(教育社会学)	社会学	兼任	教授	吉原 恵子 (61) <平成29年4月> 博士(教育社会学)	社会学	兼任	教授	吉原 恵子 (62) <平成29年4月> 博士(教育社会学)	社会学
兼任	教授	和田 光徳 (58) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)	保健医療福祉行政論	兼任	教授	和田 光徳 (59) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)	社会福祉論 保健医療福祉行政論	兼任	教授	和田 光徳 (60) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)	社会福祉論 保健医療福祉行政論	兼任	教授	和田 光徳 (61) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)	社会福祉論 保健医療福祉行政論
兼任	教授	堀池 聡 (58) <平成29年4月> 博士(工学)	コンピュータ演習	兼任	教授	堀池 聡 (59) <平成29年4月> 博士(工学)	コンピュータ演習	兼任	教授	堀池 聡 (60) <平成29年4月> 博士(工学)	コンピュータ演習	兼任	教授	堀池 聡 (61) <平成29年4月> 博士(工学)	コンピュータ演習
兼任	教授	河野 真 (55) <平成30年4月> Ph.D.(英国)	保健医療福祉行政論	兼任	教授	河野 真 (56) <平成30年4月> Ph.D.(英国)	保健医療福祉行政論								
兼任	教授	金子 哲 (54) <平成29年4月> 修士(文学)	歴史学 地域文化論	兼任	教授	金子 哲 (55) <平成29年4月> 修士(文学)	歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を讀む	兼任	教授	金子 哲 (56) <平成29年4月> 修士(文学)	歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を讀む 現代社会の理解	兼任	教授	金子 哲 (57) <平成29年4月> 修士(文学)	地域と伝承 歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を讀む 日本の伝統文化「和歌」を学ぶ 現代社会の理解 ヒューマンサービスと マネジメント 入門ボランティア

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名								
兼任	教授	古田 薫 (54) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育原理 教育制度論	兼任	教授	古田 薫 (55) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育制度論	兼任	教授	古田 薫 (56) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育制度論 教育課程論 (遠征・特別活動を含む)	兼任	教授	古田 薫 (57) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育制度論 教育課程論	兼任	教授	古田 薫 (58) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育制度論 教育課程論 道徳教育の理論	兼任	教授	古田 薫 (59) <平成29年4月> 修士(教育学)	教育制度論 教育課程論 道徳教育の理論
兼任	教授	稲富 恭 (51) <平成29年4月> 修士(工学)	色彩とデザイン	兼任	教授	稲富 恭 (52) <平成29年4月> 修士(工学)	コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域	兼任	教授	稲富 恭 (53) <平成29年4月> 修士(工学)	コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 日本の伝統文化「和」を学ぶ 入門ボランティア	兼任	教授	稲富 恭 (54) <平成29年4月> 修士(工学)	コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 日本の伝統文化「和」を学ぶ 入門ボランティア	兼任	教授	稲富 恭 (55) <平成29年4月> 修士(工学)	コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 日本の伝統文化「和」を学ぶ 入門ボランティア	兼任	教授	稲富 恭 (56) <平成29年4月> 修士(工学)	コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 日本の伝統文化「和」を学ぶ 入門ボランティア
兼任	教授	石原 敬子 (50) <平成29年4月> 修士(経済学)	経済学	兼任	教授	石原 敬子 (51) <平成29年4月> 修士(経済学)	経済学	兼任	教授	石原 敬子 (52) <平成29年4月> 修士(経済学)	経済学	兼任	教授	石原 敬子 (53) <平成29年4月> 修士(経済学)	経済学	兼任	教授	石原 敬子 (54) <平成29年4月> 修士(経済学)	経済学	兼任	教授	石原 敬子 (55) <平成29年4月> 修士(経済学)	経済学
兼任	教授	李 良姫 (49) <平成29年4月> 博士(学術)	韓国語(初級) 韓国語(中級)	兼任	教授	李 良姫 (50) <平成29年4月> 博士(学術)	韓国語(初級) 韓国語(中級)	兼任	教授	李 良姫 (51) <平成29年4月> 博士(学術)	韓国語(初級) 韓国語(中級)	兼任	教授	李 良姫 (52) <平成29年4月> 博士(学術)	韓国語(初級) 韓国語(中級)	兼任	教授	李 良姫 (53) <平成29年4月> 博士(学術)	韓国語(初級) 韓国語(中級)	兼任	教授	李 良姫 (54) <平成29年4月> 博士(学術)	韓国語(初級) 韓国語(中級)
兼任	教授	北高 律之 (47) <平成29年4月> 博士(芸術工学)	心理学	兼任	教授	北高 律之 (48) <平成29年4月> 博士(芸術工学)	心理学 兵庫大学の学びと和	兼任	教授	北高 律之 (49) <平成29年4月> 博士(芸術工学)	心理学 兵庫大学の学びと和	兼任	教授	北高 律之 (50) <平成29年4月> 博士(芸術工学)	心理学 兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門	兼任	教授	北高 律之 (51) <平成29年4月> 博士(芸術工学)	心理学 兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門	兼任	教授	北高 律之 (52) <平成29年4月> 博士(芸術工学)	心理学 兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門
				兼任	教授	細川 敬三 (82) <平成29年4月> 博士(農学)	栄養学 (食品学を含む)	兼任	教授	細川 敬三 (83) <平成29年4月> 博士(農学)	栄養学 (食品学を含む)	兼任	教授	細川 敬三 (84) <平成29年4月> 博士(農学)	栄養学 (食品学を含む)								
				兼任	教授	佐平 康弘 (80) <平成29年4月> 博士(言語学)	英用英語Ⅰ 英用英語Ⅱ	兼任	教授	佐平 康弘 (81) <平成29年4月> 博士(言語学)	英用英語Ⅰ 英用英語Ⅱ	兼任	教授	佐平 康弘 (82) <平成29年4月> 博士(言語学)	英用英語Ⅰ 英用英語Ⅱ								
兼任	教授	斎藤 正寿 (54) <平成29年4月> 修士(文学)	国際関係論 政治学	兼任	教授	斎藤 正寿 (55) <平成29年4月> 修士(文学)	国際関係論 政治学	兼任	教授	斎藤 正寿 (56) <平成29年4月> 修士(文学)	国際関係論 政治学	兼任	教授	斎藤 正寿 (57) <平成29年4月> 修士(文学)	国際関係論 政治学	兼任	教授	斎藤 正寿 (58) <平成29年4月> 修士(文学)	国際関係論 政治学 ファシリテーション入門	兼任	教授	斎藤 正寿 (59) <平成29年4月> 修士(文学)	国際関係論 政治学 ファシリテーション入門
兼任	准教授	原 志津 (52) <平成29年4月> 修士(学術)	教育相談 (カウンセリングを含む)	兼任	准教授	原 志津 (53) <平成29年4月> 修士(学術)	教育相談 (カウンセリングを含む)	兼任	准教授	原 志津 (54) <平成29年4月> 修士(学術)	教育相談 (カウンセリングを含む)	兼任	准教授	原 志津 (55) <平成29年4月> 修士(学術)	教育相談 (カウンセリングを含む)	兼任	准教授	原 志津 (57) <平成29年4月> 修士(学術)	教育相談 (カウンセリングを含む)	兼任	准教授	原 志津 (55) <平成29年4月> 修士(学術)	教育相談 (カウンセリングを含む)
兼任	准教授	西田 悦雄 (50) <平成29年4月> 修士(情報科学)	コンピュータ演習																				
兼任	准教授	佐藤 隆 (50) <平成29年4月> 博士(理学)	生物学	兼任	准教授	佐藤 隆 (51) <平成29年4月> 博士(理学)	生物学	兼任	准教授	佐藤 隆 (52) <平成29年4月> 博士(理学)	生物学	兼任	准教授	佐藤 隆 (53) <平成29年4月> 博士(理学)	生物学	兼任	准教授	佐藤 隆 (54) <平成29年4月> 博士(理学)	生物学	兼任	准教授	佐藤 隆 (55) <平成29年4月> 博士(理学)	生物学
兼任	准教授	本多 彰 (38) <平成29年4月> 修士(文学)※	宗教と人生 仏教と現代社会 比較文化論	兼任	准教授	本多 彰 (39) <平成29年4月> 修士(文学)※	宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和	兼任	准教授	本多 彰 (40) <平成29年4月> 修士(文学)※	宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 長次郎論 比較文化論	兼任	准教授	本多 彰 (41) <平成29年4月> 修士(文学)※	宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 長次郎論 比較文化論	兼任	准教授	本多 彰 (42) <平成29年4月> 修士(文学)※	宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 長次郎論 比較文化論	兼任	准教授	本多 彰 (43) <平成29年4月> 修士(文学)※	宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 長次郎論 比較文化論





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								山崎 一雄 ( 36 ) <平成31年4月> 博士(農学)			山崎 一雄 ( 37 ) <平成31年4月> 博士(農学)			山崎 一雄 ( 38 ) <平成31年4月> 博士(農学)
								高と健康			食と健康			食と健康
											Cuomo, Osaze Martin ( 38 ) <令和2年4月> 修士(国際関係学)			Cuomo, Osaze Martin ( 39 ) <令和2年4月> 修士(国際関係学)
											実用英語Ⅲ			英語
											田嶋 和彦 ( 55 ) <令和2年4月> 博士(学術)			田嶋 和彦 ( 56 ) <令和2年4月> 博士(学術)
											ファシリテーション入門			ファシリテーション入門
														小倉 敏 ( 48 ) <令和3年4月> 修士(社会福祉学) ヒューマンケアサービスと マネジメント
兼任	講師	大藤 隆彦 ( 70 ) <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	大藤 隆彦 ( 71 ) <平成29年4月> 修士(教育学)									
		化学基礎			化学基礎									
兼任	講師	砂子 滋美 ( 69 ) <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	砂子 滋美 ( 70 ) <平成29年4月> 修士(教育学)									
		教職概論			教職概論									
兼任	講師	新井野 久男 ( 68 ) <平成30年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	新井野 久男 ( 69 ) <平成30年4月> 学士(教育学)									
		教育課程論 (道徳・特別活動を含む) 生徒指導論			教育課程論 (道徳・特別活動を含む) 生徒指導論									
兼任	講師	田中 貞之 ( 69 ) <平成29年4月> 修士(農学)												
		生物基礎												
兼任	講師	田村 淳 ( 69 ) <平成29年4月> 修士(農学)												
		生物基礎												
兼任	講師	岩見 健二 ( 68 ) <平成29年4月> 学士(造形)	兼任	講師	岩見 健二 ( 69 ) <平成29年4月> 学士(造形)									
		芸術			芸術									
兼任	講師	立谷 正樹 ( 67 ) <平成29年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	立谷 正樹 ( 68 ) <平成29年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	立谷 正樹 ( 69 ) <平成29年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	立谷 正樹 ( 70 ) <平成29年4月> 学士(教育学)			
		化学基礎			生物基礎 化学基礎			生物基礎 化学基礎			生物基礎 化学基礎			
兼任	講師	谷口 武 ( 65 ) <平成29年4月> 修士(工学)	兼任	講師	谷口 武 ( 66 ) <平成29年4月> 修士(工学)	兼任	講師	谷口 武 ( 67 ) <平成29年4月> 修士(工学)	兼任	講師	谷口 武 ( 68 ) <平成29年4月> 修士(工学)	兼任	講師	谷口 武 ( 69 ) <平成29年4月> 修士(工学)
		化学基礎			化学基礎			化学基礎			化学基礎			化学基礎
兼任	講師	笹田 哲男 ( 64 ) <平成29年4月> 修士(文学)、修士(政治学) 日本国憲法	兼任	講師	笹田 哲男 ( 65 ) <平成29年4月> 修士(文学)、修士(政治学) 日本国憲法	兼任	講師	笹田 哲男 ( 66 ) <平成29年4月> 修士(文学)、修士(政治学) 日本国憲法						
		私のためのキャリア設計			私のためのキャリア設計			私のためのキャリア設計			私のためのキャリア設計			
兼任	講師	三上 嘉代子 ( 63 ) <平成29年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	三上 嘉代子 ( 64 ) <平成29年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	三上 嘉代子 ( 65 ) <平成29年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	三上 嘉代子 ( 66 ) <平成29年4月> 学士(教育学)			
		私のためのキャリア設計			私のためのキャリア設計			私のためのキャリア設計			私のためのキャリア設計			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名									
兼任	講師	阿部 真幸 (62) <平成29年4月>	化学 修士(農学)	兼任	講師	阿部 真幸 (63) <平成29年4月>	化学 修士(農学)	兼任	講師	阿部 真幸 (64) <平成29年4月>	化学 修士(農学)	兼任	講師	阿部 真幸 (65) <平成29年4月>	化学 修士(農学)	兼任	講師	阿部 真幸 (66) <平成29年4月>	化学 修士(農学)	兼任	講師	阿部 真幸 (67) <平成29年4月>	化学 修士(農学)	
兼任	講師	修 曉軍 (61) <平成29年4月>	中国語(初級) 中国語(中級) 修士(法学)	兼任	講師	修 曉軍 (62) <平成29年4月>	中国語(初級) 中国語(中級) 修士(法学)	兼任	講師	修 曉軍 (63) <平成29年4月>	中国語(初級) 中国語(中級) 修士(法学)	兼任	講師	修 曉軍 (64) <平成29年4月>	中国語(初級) 中国語(中級) 修士(法学)	兼任	講師	修 曉軍 (65) <平成29年4月>	中国語(初級) 中国語(中級) 修士(法学)	兼任	講師	修 曉軍 (66) <平成29年4月>	中国語(初級) 中国語(中級) 修士(法学)	
兼任	講師	片山 俊部 (61) <平成29年4月>	生化学 博士(工学)	兼任	講師	片山 俊部 (62) <平成29年4月>	生化学 博士(工学)																	
兼任	講師	米谷 昌彦 (59) <平成29年4月>	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系) 博士(医学)	兼任	講師	米谷 昌彦 (60) <平成29年4月>	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系) 博士(医学)	兼任	講師	米谷 昌彦 (61) <平成29年4月>	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系) 博士(医学)	兼任	講師	米谷 昌彦 (62) <平成29年4月>	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系) 博士(医学)	兼任	講師	米谷 昌彦 (63) <平成29年4月>	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系) 博士(医学)					
兼任	講師	南川 博康 (56) <平成29年4月>	精神保健 精神看護学概論 博士(医学)	兼任	講師	南川 博康 (57) <平成29年4月>	精神保健 精神看護学概論 博士(医学)																	
兼任	講師	吉永 潤 (56) <平成29年4月>	教育方法・技術論 修士(教育学)	兼任	講師	吉永 潤 (57) <平成29年4月>	教育方法・技術論 修士(教育学)	兼任	講師	吉永 潤 (58) <平成29年4月>	教育方法・技術論 修士(教育学)	兼任	講師	吉永 潤 (59) <平成29年4月>	教育方法・技術論 修士(教育学)	兼任	講師	吉永 潤 (60) <平成29年4月>	教育方法・技術論 修士(教育学)	兼任	講師	吉永 潤 (61) <平成29年4月>	教育方法・技術論 修士(教育学)	
兼任	講師	安井 重雄 (54) <平成29年4月>	文学 博士(文学)																					
兼任	講師	野田 直恵 (54) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 修士(文学)	兼任	講師	野田 直恵 (55) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 修士(文学)	兼任	講師	野田 直恵 (56) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 修士(文学)	兼任	講師	野田 直恵 (57) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 修士(文学)	兼任	講師	野田 直恵 (58) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 修士(文学)	兼任	講師	野田 直恵 (59) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 修士(文学)	
兼任	講師	三浦 摩美 (52) <平成29年4月>	哲学 修士(文学)	兼任	講師	三浦 摩美 (53) <平成29年4月>	哲学 修士(文学)	兼任	講師	三浦 摩美 (54) <平成29年4月>	哲学 修士(文学)	兼任	講師	三浦 摩美 (55) <平成29年4月>	哲学 修士(文学)	兼任	講師	三浦 摩美 (56) <平成29年4月>	哲学 修士(文学)	兼任	講師	三浦 摩美 (57) <平成29年4月>	哲学 修士(文学)	
兼任	講師	横川 幸男 (53) <平成29年4月>	国際理解と宗教I (キリスト教) 博士(学術)																					
兼任	講師	重親 知左子 (49) <平成29年4月>	国際理解と宗教II (イスラム教) 修士(言語文学)	兼任	講師	重親 知左子 (50) <平成29年4月>	国際理解と宗教II (イスラム教) 修士(言語文学)	兼任	講師	重親 知左子 (51) <平成29年4月>	国際理解と宗教II (イスラム教) 修士(言語文学)	兼任	講師	重親 知左子 (52) <平成29年4月>	国際理解と宗教II (イスラム教) 修士(言語文学)	兼任	講師	重親 知左子 (53) <平成29年4月>	国際理解と宗教II (イスラム教) 修士(言語文学)	兼任	講師	重親 知左子 (54) <平成29年4月>	国際理解と宗教II (イスラム教) 修士(言語文学)	
兼任	講師	辻本 恭子 (46) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 博士(学術)	兼任	講師	辻本 恭子 (47) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 博士(学術)	兼任	講師	辻本 恭子 (48) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 博士(学術)	兼任	講師	辻本 恭子 (49) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 博士(学術)	兼任	講師	辻本 恭子 (50) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 博士(学術)	兼任	講師	辻本 恭子 (51) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 博士(学術)	
兼任	講師	豊福 一 (38) <平成29年4月>	法と社会 学士(法学)	兼任	講師	豊福 一 (39) <平成29年4月>	法と社会 学士(法学)	兼任	講師	豊福 一 (40) <平成29年4月>	法と社会 学士(法学)	兼任	講師	豊福 一 (41) <平成29年4月>	法と社会 学士(法学)	兼任	講師	豊福 一 (42) <平成29年4月>	法と社会 学士(法学)	兼任	講師	豊福 一 (43) <平成29年4月>	法と社会 学士(法学)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	岩本 智依 ( 37 ) <平成29年4月> 修士(法学)	兼任	講師	岩本 智依 ( 38 ) <平成29年4月> 修士(法学)	兼任	講師	岩本 智依 ( 39 ) <平成29年4月> 修士(法学)	兼任	講師	岩本 智依 ( 40 ) <平成29年4月> 修士(法学)	兼任	講師	岩本 智依 ( 41 ) <平成29年4月> 修士(法学)
		担当授業科目名 人権の歴史			担当授業科目名 人権の歴史			担当授業科目名 人権の歴史			担当授業科目名 人権の歴史			担当授業科目名 人権の歴史
兼任	講師	松盛 美紀子 ( 38 ) <平成29年4月> 修士(アメリカ研究)	兼任	講師	松盛 美紀子 ( 39 ) <平成29年4月> 修士(アメリカ研究)	兼任	講師	松盛 美紀子 ( 40 ) <平成29年4月> 修士(アメリカ研究)	兼任	講師	松盛 美紀子 ( 41 ) <平成29年4月> 修士(アメリカ研究)	兼任	講師	松盛 美紀子 ( 42 ) <平成29年4月> 修士(アメリカ研究)
		実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ			実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ			実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ			実用英語Ⅱ			実用英語Ⅱ
兼任	講師	本多 真 ( 36 ) <平成29年4月> 博士(国際文化学)	兼任	講師	本多 真 ( 37 ) <平成29年4月> 博士(国際文化学)	兼任	講師	本多 真 ( 38 ) <平成29年4月> 博士(国際文化学)	兼任	講師	本多 真 ( 39 ) <平成29年4月> 博士(国際文化学)	兼任	講師	本多 真 ( 40 ) <平成29年4月> 博士(国際文化学)
		生命倫理学			生命倫理学			生命倫理学			生命倫理学			生命倫理学
			兼任	講師	市村 豊 ( 70 ) <平成29年4月> 学士(農学)	兼任	講師	市村 豊 ( 71 ) <平成29年4月> 学士(農学)						
					生物基礎			生物基礎						
			兼任	講師	廣岡 準一 ( 67 ) <平成29年4月> 修士(経営情報)	兼任	講師	廣岡 準一 ( 68 ) <平成29年4月> 修士(経営情報)	兼任	講師	廣岡 準一 ( 69 ) <平成29年4月> 修士(経営情報)	兼任	講師	廣岡 準一 ( 70 ) <平成29年4月> 修士(経営情報)
					英語			英語			英語			英語
			兼任	講師	天野 智博 ( 62 ) <平成29年4月> 修士(理学)	兼任	講師	天野 智博 ( 63 ) <平成29年4月> 修士(理学)	兼任	講師	天野 智博 ( 64 ) <平成29年4月> 修士(理学)	兼任	講師	天野 智博 ( 65 ) <平成29年4月> 修士(理学)
					化学基礎			化学基礎			化学基礎			化学基礎
			兼任	講師	Michael H.Fox ( 60 ) <平成29年4月> M.A.(米園)	兼任	講師	Michael H.Fox ( 61 ) <平成29年4月> M.A.(米園)	兼任	講師	Michael H.Fox ( 62 ) <平成29年4月> M.A.(米園)	兼任	講師	Michael H.Fox ( 63 ) <平成29年4月> M.A.(米園)
					英語 実用英語Ⅰ			英語 実用英語Ⅰ			英語 実用英語Ⅰ			英語 実用英語Ⅰ
			兼任	講師	野佐 英水 ( 59 ) <平成29年4月> 修士(文学)	兼任	講師	野佐 英水 ( 60 ) <平成29年4月> 修士(文学)	兼任	講師	野佐 英水 ( 61 ) <平成29年4月> 修士(文学)	兼任	講師	野佐 英水 ( 62 ) <平成29年4月> 修士(文学)
					国際理解と崇教Ⅰ (キリスト教)			国際理解と崇教Ⅰ (キリスト教)			国際理解と崇教Ⅰ (キリスト教)			国際理解と崇教Ⅰ (キリスト教)
			兼任	講師	野寺 一重 ( 55 ) <平成29年4月> 修士(学校教育)	兼任	講師	野寺 一重 ( 56 ) <平成29年4月> 修士(学校教育)	兼任	講師	野寺 一重 ( 57 ) <平成29年4月> 修士(学校教育)	兼任	講師	野寺 一重 ( 58 ) <平成29年4月> 修士(学校教育)
					英語			英語			英語			英語
			兼任	講師	高 秀典 ( 42 ) <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	講師	高 秀典 ( 43 ) <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	講師	高 秀典 ( 44 ) <平成29年4月> 博士(学術)	兼任	講師	高 秀典 ( 45 ) <平成29年4月> 博士(学術)
					韓国語(初級) 韓国語(中級)			韓国語(初級) 韓国語(中級)			韓国語(初級) 韓国語(中級)			韓国語(初級) 韓国語(中級)
			兼任	講師	柳井 由典 ( 38 ) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	講師	柳井 由典 ( 39 ) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	講師	柳井 由典 ( 40 ) <平成30年4月> 博士(医学)			
					精神保健 精神看護学概論			精神保健 精神看護学概論			精神保健 精神看護学概論			精神保健 精神看護学概論
			兼任	講師	中島 えり ( 62 ) <平成30年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	中島 えり ( 63 ) <平成30年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	中島 えり ( 64 ) <平成30年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	中島 えり ( 65 ) <平成30年4月> 修士(経済学)
					看護理論 看護管理論			看護理論 看護管理論			看護理論 看護管理論			看護理論 看護管理論
			兼任	講師	植津 隆男 ( 66 ) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	植津 隆男 ( 67 ) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	植津 隆男 ( 68 ) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	植津 隆男 ( 69 ) <平成30年4月> 修士(教育学)
					生徒指導論			生徒指導論			生徒指導論			生徒指導論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								西尾 和典 ( 62 ) <平成31年4月> 学士(体育学)			西尾 和典 ( 63 ) <平成31年4月> 学士(体育学)			西尾 和典 ( 64 ) <平成31年4月> 学士(体育学)
								井原 一久 ( 52 ) <平成31年4月> 修士(都市政策)			井原 一久 ( 53 ) <平成31年4月> 修士(都市政策)			井原 一久 ( 54 ) <平成31年4月> 修士(都市政策)
								増田 暉 ( 61 ) <平成31年4月> 修士(園芸学)、修士(学校教育学)、修士(教育学)			増田 暉 ( 62 ) <平成31年4月> 修士(園芸学)、修士(学校教育学)、修士(教育学)			増田 暉 ( 63 ) <平成31年4月> 修士(園芸学)、修士(学校教育学)、修士(教育学)
								生物基礎			生物基礎			生物基礎
								福原 淳一 ( 63 ) <令和2年4月> 修士(農学)			福原 淳一 ( 64 ) <令和2年4月> 修士(農学)			福原 淳一 ( 64 ) <令和2年4月> 修士(農学)
								生物学基礎			生物学基礎			生物学基礎
								片山 貴文 ( 54 ) <令和2年4月> 博士(工学)			片山 貴文 ( 55 ) <令和2年4月> 博士(工学)			片山 貴文 ( 55 ) <令和2年4月> 博士(工学)
								疫学			疫学			疫学
								杉田 律子 ( 40 ) <令和2年4月> 修士(教育学)			杉田 律子 ( 50 ) <令和2年4月> 修士(教育学)			杉田 律子 ( 50 ) <令和2年4月> 修士(教育学)
								教育課程論			教育課程論			特別支援教育論
								樋田 清宏 ( 66 ) <令和2年4月> 修士(教育学)			樋田 清宏 ( 66 ) <令和2年4月> 修士(教育学)			樋田 清宏 ( 66 ) <令和2年4月> 修士(教育学)
								特別活動・総合的な学習の時間			特別活動・総合的な学習の時間			特別活動・総合的な学習の時間
														池本 太三 ( 60 ) <令和3年4月> 学士(理学)
														化学基礎
														輪原 ひとみ ( 64 ) <令和3年4月> 博士(医学)
														高住看護学概論 高住看護援助論 高住看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
														七野 謙一 ( 30 ) <令和3年4月> 学士(医学)
														精神保健 精神看護学概論
														秋田 雅裕 ( 52 ) <令和3年4月> 学士(経済学)
														私のためのキャリア設計

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。  
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。  
・ 専任(専門職大学等は専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

小島賢子准教授辞任のため森田寛子教授に変更。  
瀧本茂子准教授辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
久井志保准教授辞任のため、福川京子教授に変更。  
掛川静代助教辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
在宅看護分野の充実のため、高見千恵教授を採用。

【平成30年度】

福川京子教授辞任のため、尾崎八代准教授に変更。  
小野晴子教授教授辞任のため、肥後すみ子教授に変更。  
新田幸子教授辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
柴田順子講師辞任のため、細川愛美講師に変更。  
西原かおり助教辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
小児看護学分野として、小島光華講師を採用。  
長尾憲樹教授が看護学部看護学科から健康科学部健康システム学科に異動。専任から兼任に変更。  
鷹野貞子助手が助教に昇任。

【令和元年度】

石田宜子教授辞任のため、柴山健三教授を採用。  
肥後すみ子教授辞任のため、松村あゆみ講師を採用。  
和田知世講師辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
天本都講師辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
西山忠博講師辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
大塚千秋講師辞任のため、石井俊行准教授を採用。  
鷹野貞子助教辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
藤後栄一助手が助教に昇任。  
成人看護分野の充実のため、根本順子准教授を採用。  
在宅看護分野の充実のため、秋山正子講師を採用。

【令和2年度】

白神佐知子准教授が教授に昇任。  
塩霧津恵講師が准教授に昇任。  
伊藤純教授辞任のため、藤原周一准教授を採用。  
富安俊子教授辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
宮島多映子教授辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
尾崎八代准教授辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
廣田真里講師辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
松村あゆみ講師辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
精神看護分野の充実のため、田中諭助教を採用。  
教育内容充実のため、長弘千恵教授、原田広枝教授、羽場千佐子講師を採用。

【令和3年度】

田中諭助教辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。  
大植崇講師が准教授に昇任。  
中村朋子講師が准教授に昇任。  
細川愛美講師が看護学部看護学科から健康科学部健康システム学科に異動。専任から兼任に変更。  
教育内容充実のため、荒金英里子講師を採用。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	5	9	3	27	9	10	7	6	1	24	7
(10)	(5)	(9)	(3)	(27)	(9)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	7	6	1	24	7	10	7	6	1	24	7
[ 0 ]	[ 2 ]	[ Δ3 ]	[ Δ2 ]	[ Δ3 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ Δ3 ]	[ Δ2 ]	[ Δ3 ]	[ Δ2 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
67	4	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{27} = \boxed{88.88} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{24} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{7}{9} = \boxed{77.77} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	小島 賢子	H29.3	必修	小児看護学概論	①	他大学への転出希望のため依願退職（29）
				必修	小児看護援助論	①	
				必修	小児看護学実習	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
2	准教授	瀧本 茂子	H29.3	必修	老年看護学概論	①	体調不良による依願退職（29）
				必修	老年看護援助論	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
3	准教授	久井 志保	H29.3	必修	保健福祉行政論	①	休職期間満了に伴う依願退職（29）
				必修	公衆衛生看護学概論	①	
				必修	健康教育論	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
				選択	公衆衛生看護学活動展開論	①	
				選択	産業保健論	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①	
				選択	公衆衛生看護学特論	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
4	助教	掛川 静代	H29.3	必修	ヘルスアセスメント	①	家庭の事情による依願退職 (29)
				必修	看護技術論Ⅰ (生活技術援助)	①	
				必修	看護技術論Ⅱ (診療技術援助)	①	
				必修	看護技術論Ⅲ (看護過程)	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
5	教授	福川 京子	H30.3	必修	保健医療福祉行政論	①	他大学への転出希望のため依願退職 (30)
				必修	公衆衛生看護学概論	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
				選択	公衆衛生看護学 活動展開論	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①	
				選択	公衆衛生看護学特論	①	
6	講師	柴田 順子	H30.3	必修	学校保健概論	①	家庭の事情による依願退職 (30)
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				選択	学校保健活動論	①	
				選択	学校保健演習	①	
				選択	養護概説	①	
				選択	教職実践演習 (養護教諭)	①	
7	助教	西原 かおり	H30.3	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	他大学への転出希望のため依願退職 (30)
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	老年看護援助論	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
8	教授	石田 宜子	H31.3	必修	看護倫理	①	家庭の事情による依願退職 (元)
				必修	成人看護学概論	①	
				必修	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	①	
				必修	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	①	
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
				必修	健康教育論	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
9	教授	肥後 すみ子	H31.3	必修	看護教育学	①	他大学への転出希望のため依願退職 (元)
				必修	老年看護学概論	①	
				必修	老年看護援助論	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	



番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
10	講師	天本 都	H31.3	必修	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系)	①	家庭の事情による依願退職(元)
				必修	母性看護援助論	①	
				必修	母性看護学実習	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
11	講師	大塚 千秋	H31.3	必修	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	①	家庭の事情による依願退職(元)
				必修	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	①	
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
12	講師	西山 忠博	H31.3	必修	ヘルスアセスメント	①	他大学への転出希望のため依願退職(元)
				必修	看護技術論Ⅰ (生活援助技術)	①	
				必修	看護技術論Ⅱ (診療補助技術)	①	
				必修	看護技術論Ⅲ (看護過程)	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
必修	看護の統合と実践実習	①					
13	講師	和田 知世	H31.3	必修	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	①	契約期間満了のため退職(元)
				必修	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	①	
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
14	助教	鷺野 貴子	H31.3	必修	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	①	他大学への転出希望のため依願退職(元)
				必修	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	①	
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
15	教授	伊藤 純	R2.3	必修	形態機能論Ⅰ	①	他大学への転出希望のため依願退職(2)
				必修	形態機能論Ⅱ	①	
				必修	臨床病理病態学Ⅰ (内科系)	①	
				必修	臨床病理病態学Ⅱ (内科系)	①	
				必修	健康教育論	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				選択	疫学	②	
16	教授	富安 俊子	R2.3	必修	母性看護学概論	②	他大学への転出希望のため依願退職(2)
				必修	母性看護援助論	②	
				必修	母性看護学実習	②	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
17	教授	宮島 多映子	R2.3	必修	看護学概論	①	他大学への転出希望のため依願退職 (2)						
				必修	ヘルスアセスメント	①							
				必修	看護技術論Ⅰ (生活援助技術)	①							
				必修	看護技術論Ⅱ (診療補助技術)	①							
				必修	看護技術論Ⅲ (看護課程)	①							
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①							
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①							
				必修	基礎ゼミ	①							
				必修	看護研究Ⅰ	①							
				必修	看護研究Ⅱ	①							
				必修	看護の統合と実践実習	①							
18	准教授	尾崎 八代	R2.3	必修	基礎ゼミ	①	体調不良による依願退職 (2)						
				必修	看護研究Ⅰ	①							
				必修	看護研究Ⅱ	①							
				選択	公衆衛生看護学活動展開論	①							
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①							
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①							
19	講師	廣田 真里	R1.10	必修	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	①	体調不良による依願退職 (2)						
				必修	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	①							
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①							
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①							
				必修	基礎ゼミ	①							
				必修	看護研究Ⅰ	①							
				必修	看護研究Ⅱ	①							
				必修	看護の統合と実践実習	①							
20	講師	松村 あゆみ	R2.3	必修	老年看護学概論	①	他大学への転出希望のため依願退職 (2)						
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①							
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①							
				必修	基礎ゼミ	①							
				必修	看護研究Ⅰ	①							
				必修	看護研究Ⅱ	①							
				必修	看護の統合と実践実習	①							
				21	助教	田中 諭		R2.9	必修	精神看護学概論	①	施設への転出希望のため依願退職 (3)	
必修	精神看護援助論	①											
必修	精神看護学実習	①											
必修	基礎看護学実習Ⅰ	①											
必修	基礎看護学実習Ⅱ	①											
必修	基礎ゼミ	①											
必修	看護研究Ⅱ	①											
必修	看護の統合と実践実習	①											
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
21	人	必修	161	科目	必修	161	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	19	科目	選択	18	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	180	科目	計	179	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
21	人	必修	161 科目	必修	161 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	19 科目	選択	18 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	180 科目	計	179 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{27} = \boxed{77.77} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	小野 晴子	必修	看護管理学	②	H30. 3. 31付け定年退職 (30)			
			必修	老年看護学概論	①				
			必修	老年看護援助論	①				
			必修	老年看護学実習 I	①				
			必修	老年看護学実習 II	①				
			必修	基礎ゼミ	①				
			必修	看護研究 I	①				
			必修	看護研究 II	①				
2	教授	新田 幸子	必修	看護教育学	①	H30. 3. 31付け定年退職 (30)			
			必修	在宅看護概論	①				
			必修	在宅看護援助論	①				
			必修	在宅看護実習	①				
			必修	基礎ゼミ	①				
			必修	看護研究 I	①				
			必修	看護研究 II	①				
			必修	看護の統合と実践実習	①				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	33 科目	必修	17 科目	必修	16 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	33 科目	計	17 科目	計	16 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

##### 「大学の所見」

###### 〔平成29年5月報告〕

小島賢子准教授、久井志保准教授は同分野の教授職が就任した。瀧本茂子准教授、掛川静代助教は同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

###### 〔平成30年5月報告〕

福川京子教授の後任として、尾崎八代准教授を平成30年4月1日付で採用した。  
小野晴子教授の後任として、肥後すみ子教授を平成30年4月1日付で採用した。  
新田幸子教授の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。  
柴田順子講師の後任として細川愛美講師を平成30年4月1日付で採用した。  
西原かおり助教の担当科目は同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

###### 〔令和元年5月報告〕

石田宜子教授の後任として、柴山健三教授を平成31年4月1日付で採用した。  
肥後すみ子教授の後任として、松村あゆみ講師を平成31年4月1日付で採用した。  
天本都講師の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。  
大塚千秋講師の後任として、石井俊行准教授を平成31年4月1日付で採用した。  
西山忠博講師の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。  
和田知世講師の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。  
鷺野貴子助教の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

###### 〔令和2年5月報告〕

伊藤純教授の後任として、藤原周一准教授を令和2年4月1日付で採用した。  
富安俊子教授の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。  
宮島多映子教授の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。  
尾崎八代准教授の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。  
松村あゆみ講師の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

###### 〔令和3年5月報告〕

田中諭助教の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び履修等に影響はない。

##### 「学生への周知方法」

学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>設 置 時 (平成28年7月)</p>	<p>現代ビジネス学部現代ビジネス学科の定員充足率が0.7倍未満と なっていることから、 学生の確保に努めると ともに、入学定員の見 直しについて検討する こと。</p>	<p>昨年度は教員と事務職員による 高校訪問の実施に加え、出前授業 (アカデミックレクチャー)を新規で 実施した。さらに学科主催の 高校生向けイベントである 「第2回現代ビジネスプラン・コン ペ」を実施するなど、募集活動及び 学科の周知活動を展開し、志願者 の増加(昨年1.39倍)にはつな がったが、学生確保に至らな かった。 今年度は、附属校及び出願・入 学実績のある重点校への営業訪 問や出前授業(アカデミックレク チャー)を積極的に実施し、学科 の教育内容や特色などについて 高校生等を中心に魅力を伝えて いく。また、高校や塾、予備校 などとの関係親密化を図ると ともに、オープンキャンパスの 改善を図り、学生確保に努 める。(29)</p>	<p>昨年度の学生募集については、 学科の教育内容の理解促進や 魅力発信をさらに強化するた め、オープンキャンパスのコン セプト設定及び模擬授業等の 見直し、オープンキャンパス 以外での学科プレゼンスを向 上させるための高校生対象の 各種セミナーの実施、公式サ イトや受験生応援サイト、 SNSを活用した発信、各種制 作物の見直しなどを実施し た。また、学科教員による 高校訪問を強化し、109校 (前年50校)実施した。出 前授業(アカデミックレクチャー 等)については、前年並みの 19件(前年21件)を実施し た。結果、志願者の増加(昨年 1.38倍)、入学者の増加(昨年 1.44倍)を見たが、留意事項 を改善できるような学生数は 確保できなかった。今年度は 、高校生の進路決定の早期化 を念頭に置きながら活動を行 うとともに、昨年度の活動を 基本にさらに内容を充実させ 、附属校や出願・入学実績の ある重点校及び本学科の専門 と類似する専門学科、普通科 の類型・コースを有する高校 へ募集活動を積極的に実施し ていく。(30)</p>

留意事項

履行中

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	現代ビジネス学部現代 ビジネス学科の定員充 足率が0.7未満となっ ていることから、学生 確保に努めるととも に、入学定員の見直し について検討するこ と。	改善意見 昨年度は教員と事務職員に による高校訪問の実施に加 え、出前授業（アカデミック レクチャー）を新規で実 施した。さらに学科主催の 高校生向けイベントである 「第2回現代ビジネスプラ ン・コンペ」を実施するな ど、募集活動及び学科の周 知活動を展開し、志願者の 増加（昨年の1.39倍）には つながったが、学生確保に 至らなかった。 今年度は、附属校及び出 願・入学実績のある重点校 への営業訪問や出前授業 （アカデミックレク チャー）を積極的に実施 し、学科の教育内容や特色 などについて高校生等を中 心に魅力を伝えていく。ま た、高校や塾、予備校など との関係親密化を図るとと もに、オープンキャンパス の改善を図り、学生確保に 努める。(29)	履行中 昨年度の学生募集につい ては、学科の教育内容の理解 促進や魅力発信をさらに強 化するため、オープンキャン パスのコンセプト設定及 び模擬授業等の見直し、 オープンキャンパス以外で の学科プレゼンスを向上さ せるための高校生対象の各 種セミナーの実施、公式サ イトや受験生応援サイト、 SNSを活用した発信、各種制 作物の見直しなどを実施し た。また、学科教員による 高校訪問を強化し、109校 （前年50校）実施した。出 前授業（アカデミックレク チャー等）については、前 年並みの19件（前年21件） を実施した。結果、志願者 の増加（昨年の1.38倍）、 入学者の増加（昨年の1.44 倍）を見たが、留意事項を 改善できるような学生数は 確保できなかった。今年度 は、高校生の進路決定の早 期化を念頭に置きながら活 動を行うとともに、昨年度 の活動を基本にさらに内容 を充実させ、附属校や出 願・入学実績のある重点校 及び本学科の専門と類似す る専門学科、普通科の類 型・コースを有する高校へ 募集活動を積極的に実施し ていく。(30)
	生涯福祉学部こども福 祉学科において、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員数の 割合が比較的高いこと から、定年規程の趣旨 を踏まえた適切な運用 に努めるとともに、教 員組織編制の将来構想 について検討するこ と。	改善意見 定年規程に定める退職年齢 （年度末で67歳）を超える 専任教員は、設置計画履行 状況調査時（平成29年2 月）で2人在籍していた。そ のうち1人は平成28年度末 （平成29年3月）で退職し、 その後任として30代後半の 専任教員を採用した。今後 も年齢構成の高齢化を改善 していくため、計画的な教 員採用を行っていく。 (29)	履行済 —

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	現代ビジネス学部現代 ビジネス学科の定員充 足率が0.7倍未満と なっていることから、 学生の確保に努めると ともに、入学定員の見 直しについて検討する こと。	昨年度の学生募集については、 学科の教育内容の理解促進や魅 力発信をさらに強化するため、 オープンキャンパスのコンセプト 設定及び模擬授業等の見直 し、オープンキャンパス以外で の学科プレゼンスを向上させる ための高校生対象の各種セミ ナーの実施、公式サイトや受験 生応援サイト、SNSを活用した 発信、各種制作物の見直しなど を実施した。また、学科教員に よる高校訪問を強化し、109校 (前年50校)実施した。出前授 業(アカデミックレクチャー 等)については、前年並みの19 件(前年21件)を実施した。結 果、志願者の増加(昨年の1.38 倍)、入学者の増加(昨年の 1.44倍)を見たが、留意事項を 改善できるような学生数は確保 できなかった。今年度は、高校 生の進路決定の早期化を念頭に 置きながら活動を行うととも に、昨年度の活動を基本にさら に内容を充実させ、附属校や出 願・入学実績のある重点校及び 本学科の専門と類似する専門学 科、普通科の類型・コースを有 する高校へ募集活動を積極的に 実施していく。現代ビジネス学 科については、	昨年度の学生募集については、 引き続き、学科の教育内容の理 解促進や魅力発信を行うため オープンキャンパスにおける体 験授業の充実や学科プレゼンス を向上させるための高校生対象 の各種セミナーの実施、公式サ イトや受験生応援サイト、SNS を活用した発信、新規制作物の 制作などを実施した。 学科教員による高校訪問につい ては、昨年度より強化し166校 (前年109校)実施した。出前 授業(アカデミックレクチャー 等)については、8件(前年19 件)を実施した。 また、昨年度からは、高大接続 改革の視点での高校との実質 的な連携を促進させるべく、地元 近隣高等学校9校(現在12校) との地域活性化連携協定を締結 し、特に現代ビジネス学科の教 育内容の理解促進を図った。入 学者選抜方法についても、A0入 試のリニューアルを図り、高等 学校における総合的な学習の時 間での活動や課外での各種団体 等が主催するコンテストでの成 果を活用できる探究学習成果活 用型を導入するなど、高大接続 改革における学力の3要素を多 面的に評価する方法を導入し、 高校現場に周知を図った。
	改善意見	平成30年の入試結果は前年度より 改善されたが、なお、定員未 充足の状態は続いているので、 定員の見直し策等の検討に着手 する。(30)	履行中 その他、公募推薦入試、一般入 試などの入試内容をチラシ作成 や受験生応援サイトでの掲載を 行い、高校生等にわかりやすい 内容で入試を周知したさら には、経済・経営系の志願者層や 現代ビジネス学科の競合校を ターゲットとした一般入試志願 者増加のための各種募集対策を 12月～3月まで実施した。 結果、志願者の増加(昨年の 2.28倍)、入学者の増加(昨年 の1.91倍)となり、留意事項を 改善できるような学生数は確保 できなかったが、単年度の入学 定員充足率が89%にまで上昇し てきたことで今後さらなる改善 が見込めるようになった。 今年度は、高校生の進路決定の 早期化や昨今の大手私立大学の 定員厳格化の影響による進路指 導の変化を念頭に置きながら活 動を行うとともに、昨年度、一 昨年度からの活動を基本にさら に内容を充実させ、附属校から の出願促進はもとより、地域活 性化連携協定校からの出願促進 も図り、定員充足へ向け募集活 動を積極的に実施していく。さ らに、定員の見直しをはかり、 2020年度に120人から100人へ20 人の定員減を行う。(元)

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	<p>同一設置者が設置する既設学部等（健康科学部栄養マネジメント学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>昨年度の学生募集については、学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、オープンキャンパスのコンセプト設定及び模擬授業等の見直し、オープンキャンパス以外での学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信、各種制作物の見直しなどを実施した。</p> <p>また、高校で行われる進学説明会へ学科教員が積極的に参加し、14校（前年0校）で直接高校生（低学年も含む）と接触する機会をつくった。</p> <p>結果、志願者の増加（昨年の1.13倍）、入学者の増加（昨年の1.23倍）を見たが、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。</p> <p>今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、さらに入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、学科教員による高校訪問も実施するなど、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。なお、編入学生については20人から5人に定員減少を行う。</p> <p>(30)</p>	<p>昨年度の学生募集については、引き続き、学科の教育内容の理解促進や魅力発信を行うためオープンキャンパスにおける体験授業の充実や学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイト、SNSを活用した発信、新規制作物の制作などを実施した。</p> <p>高校で行われる進学説明会については、学科教員が積極的に参加し、11校（前年14校）で直接高校生（低学年も含む）と接触する機会をつくった。なお、出前授業（アカデミックレクチャー等）については、実施できなかったが、学科教員による高校訪問を新規で実施し、15校訪問した。</p> <p>また、入学者選抜方法についても、A0入試のリニューアルを図り、高等学校における総合的な学習の時間での活動や課外での各種団体等が主催するコンテストでの成果を活用できる探究学習成果活用型を導入するなど、高大接続改革における学力の3要素を多面的に評価する方法を導入し、高校現場に周知を図った。その他、公募推薦入試、一般入試などの入試内容をチラシ作成や受験生応援サイトでの掲載を行い、高校生等にわかりやすい内容で入試を周知した。</p> <p>さらには、一般入試志願者増加のために、競合校との併願者増加を意識して入試科目に生物・化学を新規で設定したり、授業料負担を少しでも軽減するための制度（一般入試の成績優秀者への減免制度、入学後の経済的支援を要する成績良好者に対する奨学金制度）を新規で導入するなど、各種募集対策を12月～3月まで実施した。</p> <p>結果、志願者の増加（昨年の1.31倍）、入学者の増加（昨年の1.06倍）を見たが、留意事項を改善できるような学生数は確保できず、単年度の入学定員充足率は77.5%に留まった。</p> <p>兵庫県でも近年管理栄養士を目指す高校生の減少により、競合校も軒並み志願者が減少している厳しい状況ではあるが、今年度は、高校生の進路決定の早期化や昨今の大手私立大学の定員厳格化の影響による進路指導の変化を念頭に置きながら活動を行うとともに、昨年度、一昨年度からの活動を基本にさらに内容を充実させ、学科教員による高校訪問も強化するなど、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。（元）</p>

改善意見

履行中



区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年2月)	現代ビジネス学部現代 ビジネス学科の入学定 員未充足の改善に努め ること。	<p>             昨年度の学生募集については、引き続き、学科の教育内容の理解促進や魅力発信を行うためオープンキャンパスにおける体験授業の充実や学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイト、SNSを活用した発信、新規制作物の制作などを実施した。              学科教員による高校訪問については、昨年度より強化し166校（前年109校）実施した。出前授業（アカデミックレクチャー等）については、8件（前年19件）を実施した。              また、昨年度からは、高大接続改革の視点での高校との実質的な連携を促進させるべく、地元近隣高等学校9校（現在12校）との地域活性化連携協定を締結し、特に現代ビジネス学科の教育内容の理解促進を図った。入学選抜方法についても、A0入試のリニューアルを図り、高等学校における総合的な学習の時間での活動や課外での各種団体等が主催するコンテストでの成果を活用できる探究学習成果活用型を導入するなど、高大接続改革における学力の3要素を多面的に評価する方法を導入し、高校現場に周知を図った。           </p> <p>             その他、公募推薦入試、一般入試などの入試内容をチラシ作成や受験生応援サイトでの掲載を行い、高校生等にわかりやすい内容で入試を周知した。              さらには、経済・経営系の志願者層や現代ビジネス学科の競合校をターゲットとした一般入試志願者増加のための各種募集対策を12月～3月まで実施した。              結果、志願者の増加（昨年の2.28倍）、入学者の増加（昨年の1.91倍）となり、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかったが、単年度の入学定員充足率が89%にまで上昇してきたことで今後さらなる改善が見込めるようになった。              今年度は、高校生の進路決定の早期化や昨今の大手私立大学の定員厳格化の影響による進路指導の変化を念頭に置きながら活動を行うとともに、昨年度、一昨年度からの活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校からの出願促進はもとより、地域活性化連携協定校からの出願促進も図り、定員充足へ向け募集活動を積極的に実施していく。              さらに、定員の見直しをはかり、2020年度に120人から100人～20人の定員減を行う。（元）           </p>	<p>             令和2年度は、当該学科の入学定員の変更を行い、120人から100人とした。              学生募集活動については、近年、本学の学生募集コンセプトと毎年度定める学生募集方針及び強化ポイントに基づき、高大接続学生募集活動を実施してきており、昨年度も当該活動をベースとしながら、さらに、現代ビジネス学科の志願者・入学者増を主題とした具体的な施策を実施した。特に、オープンキャンパスへの動員と内容の充実（初めて県外開催も実施）、学科認知拡大と教育内容・魅力を発信することを目的とした高校生対象の各種セミナーの開催、各種制作物の作成、公式サイトと受験生応援サイトの内容充実やSNSの発信強化と年間を通したWEB広告などによるインターネット上の施策の強化を図った。また、受験生がよりチャレンジしやすい制度となるよう入試改革を行い、商業系高校対象入試の新規導入や取得した検定試験を活用できる方式や一般入試において高校での主体的な活動内容を評価する「総合評価型」の導入などを行った。さらには、多様な学生の受入れとして外国人留学生の募集を本格的に開始し、初年度は7名の留学生が入学した。           </p> <p>             結果、志願者429人（前年比157.7%）、入学者143人（前年比133.6%）となり、入学定員を充足した。（2）           </p>

指摘事項  
(改善)

履行中

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
<p>認 可 時 (令和元年9月)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。</p> <p>〈看護学研究科 看護学専攻（M）〉</p>	<p>留意事項</p>	<p>看護学研究科の教育研究水準を維持し、論文指導を担当するに相応しい教員を採用するため、定年規則に定める退職年齢（年度末で67歳）を超える専任教員を採用し教育組織を編成した。退職年齢を超えて採用した教員は、本研究科の完成年度末をもって退職予定である。今後は適切な定年制度の運用を図るとともに、年齢構成の高齢化を改善していくため、計画的な教員採用を行っていく。（2）</p> <p>履行中</p>	<p>引き続き適切な定年制度の運用を図るとともに、年齢構成の高齢化等を改善していくため、「看護学部等人事構想委員会」で計画的な教員採用を行っていく。（3）</p>
	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。</p> <p>〈看護学研究科 看護学専攻（D）〉</p>	<p>留意事項</p>	<p>看護学研究科の教育研究水準を維持し、論文指導を担当するに相応しい教員を採用するため、定年規則に定める退職年齢（年度末で67歳）を超える専任教員を採用し教育組織を編成した。退職年齢を超えて採用した教員は、本研究科の完成年度末をもって退職予定である。今後は適切な定年制度の運用を図るとともに、年齢構成の高齢化を改善していくため、計画的な教員採用を行っていく。（2）</p> <p>履行中</p>	<p>引き続き適切な定年制度の運用を図るとともに、年齢構成の高齢化等を改善していくため、「看護学部等人事構想委員会」で計画的な教員採用を行っていく。（3）</p>

区 分	附 帯 事 項 等	指 摘 事 項 (改善)	履 行 状 況	指 摘 事 項 (改善)	今 後 の の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年3月)	入学定員未充足の改善 に努めること。 〈現代ビジネス学部 現代ビジネス学科〉	指摘事項 (改善)	令和2年度は、当該学科の入学 定員の変更を行い、120人から 100人とした。 学生募集活動については、近 年、本学の学生募集コンセプト と毎年度定める学生募集方針及 び強化ポイントに基づき、高大 接続学生募集活動を実施してき ており、昨年度も当該活動を ベースとしながら、さらに、現 代ビジネス学科の志願者・入学 者増を主題とした具体的な施策 を実施した。特に、オープン キャンパスへの動員と内容の充 実（初めて県外開催も実施）、 学科認知拡大と教育内容・魅力 を発信することを目的とした高 校生対象の各種セミナーの開 催、各種制作物の作成、公式サ イトと受験生応援サイトの内容 充実やSNSの発信強化と年間を 通したWEB広告などによるイン ターネット上の施策の強化を 図った。また、受験生がより チャレンジしやすい制度となる よう入試改革を行い、商業系高 校対象入試の新規導入や取得し た検定試験を活用できる方式や 一般入試において高校での主体 的な活動内容を評価する「総合 評価型」の導入などを行った。 さらには、多様な学生の受入れ として外国人留学生の募集を本 格的に開始し、初年度は7名の 留学生が入学した。 結果、志願者429人（前年比 157.7%）、入学者143人（前年 比133.6%）となり、入学定員 を充足した。（2）	履行済	—
	多くの専任教員が就任 辞退又は辞任している ことから、原因分析と その結果に基づく改善 策を適切に講じること により、教育研究水準 の維持向上等に配慮し た安定的な教員組織の 編成に努めること。ま た、教員の採用に当 たっては、広く優秀な 教員を募るために、学 内推薦に加えて、学外 公募による候補者の確 保について検討するこ と。 〈看護学部看護学科〉	指摘事項 (改善)	退職希望の申出があった際 は、学部長との面談に加え、 教育担当副学長による面談を 実施し慰留等の対応を行って いる。面談においては、辞任 理由の具体的内容をヒアリン グし、その原因を把握・分析 し、辞任の抑制にむけた改善 に取り組む。 また、教員の採用に当たっ ては、広く優秀な教員を募る ことを目的に学外公募による候 補者確保の手続きを進め実行 する。 さらに「看護学部人事委員会 （構成員：教育担当副学長、 看護学部長、看護学科長、看 護学科副学科長、事務部部 長）」を設置（令和2年4月） し、本学の選考規程及び採用 手続きに則り、適正に採用が 行われていることの確認や、 辞任理由の原因分析及び改善 に向けた適切な対策を検討し ていく。（2）	履行中	退職希望の申出があった際 は、学部長との面談に加 え、教育担当副学長による 面談を実施し慰留等の対応 を行っている。この結果、 令和2年度の依願退職者は1 名であった。今後も面談制 度を活用し、辞任の抑制に むけた改善に取り組む。な お、教員の採用に当たっ ては、「看護学部等人事構 想委員会」における採用計 画のもと、学外公募による 教員採用を進めていく。（3）

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行 状況調査時 (令和3年3月)	多くの専任教員が就任 辞任又は辞任している ことから、原因分析と その結果に基づく改善 策を適切に講じること により、教育研究水準 の維持向上等に配慮し た安全な教員組織の 編成に努めること。  〈看護学部看護学科〉	指摘事項 (改善)  退職希望の申出があった際 は、学部長との面談に加 え、教育担当副学長による 面談を実施し慰留等の対応 を行っている。面談におい ては、辞任理由の具体的 内容をヒアリングし、その 原因を把握・分析し、辞任の 抑制にむけた改善に取組 んでいく。(3)	履行中
	定年規程に定める退職 年齢を超える専任教員 数の割合が高いことか ら、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編成の将来構想を 策定し、着実に実行す ること。  〈看護学研究科 看護学専攻(M)〉	指摘事項 (改善)  定年規程に定める退職年齢 (年度末で67歳)の教員 は、本研究科の完成年度を もって退職予定である。引 き続き「看護学部等人事構 想委員会」において定年退 職者にあわせた計画的な教 員採用計画を策定すると ともに、年齢構成、教育経 験、研究領域のバランスを 踏まえた採用人事を行っ ていく。(3)	履行中
	定年規程に定める退職 年齢を超える専任教員 数の割合が高いことか ら、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編成の将来構想を 策定し、着実に実行す ること。  〈看護学研究科 看護学専攻(D)〉	指摘事項 (改善)  定年規程に定める退職年齢 (年度末で67歳)の教員 は、本研究科の完成年度を もって退職予定である。引 き続き「看護学部等人事構 想委員会」において定年退 職者にあわせた計画的な教 員採用計画を策定すると ともに、年齢構成、教育経 験、研究領域のバランスを 踏まえた採用人事を行っ ていく。(3)	履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <看護学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 a 図書54,553冊 b 学術雑誌2,014冊 c 電子ジャーナル7種 d 視聴覚資料6,955種 e 機器・器具6,182種 f 標本 288種	① 図書受入数変動により505冊増。学術雑誌315冊減。電子ジャーナルを4種減。視聴覚資料を950種減。機器・器具を309種減。標本を230種減。当学科に関連する書籍ではないため、影響はない。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SD推進委員会規程(別紙1) b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 第1回 令和2年6月16日(火) 出席10名 第2回 令和2年7月7日(火) 出席10名 第3回 令和2年10月16日(木) 出席10名 第4回 令和2年11月16日(月) 出席10名 第5回 令和2年12月18日(金) 出席10名 第6回 令和3年1月29日(金) 出席9名 第7回 令和3年3月11日(木) 出席10名 c 委員会の審議事項等 第1回 (1) オンライン授業化に伴うFD・SD事業計画の変更について (2) 2020年度事業内容と役割分担について (3) 令和2年度FD・SDオフィス推進委員会予算について (4) 分科会活動について 第2回 (1) 令和2(2020)年度I期FD・SD活動について ① FD・SD研修会について(初任教職員研修会、FD・SD研修会) ② 教職員カフェについて(第1回教職員カフェ、教職員カフェ実施計画) ③ 授業アンケートの実施と活用について(オンライン授業アンケートの実施) ④ 授業公開の実施について(I期授業公開、学科等授業公開および意見交換会) ⑤ FD・SD Newsletterについて(News Letter発刊スケジュール)
---

第3回 (1) FD・SD活動について

- ① FD・SD研修会について
- ② 教職員カフェについて
- ③ 授業アンケートの実施と活用（オンライン授業アンケート）
- ④ F授業公開について
- ④ FD・SD Newsletterについて

第4回 (1) FD・SD活動について

- ① FD・SD研修について
- ② 教職員カフェについて
- ③ 授業アンケートの実施と活用
- ④ 授業公開について
- ⑤ FD・SD Newsletterについて

第5回 (1) FD・SD活動について

- ① 授業アンケートの実施と活用
- ② FD・SD研修について
- ③ 教職員カフェについて

第6回 (1) FD・SD活動について

- ① 教職員FD・SD 研修会について
- ② 教職員カフェについて
- ③ 授業アンケートの実施と活用
- ④ 授業公開の実施について
- ⑤ FD・SD Newsletter について

第7回 (1) FD・SD活動について

- ① FD・SD研修について
  - ② 教職員カフェについて
  - ③ 授業アンケートの実施と活用
  - ④ 授業公開について
  - ⑤ FD・SD Newsletterについて
- (2) その他
- ① 新任者研修について
  - ② グッドプラクティス賞について
- (3) 令和3年度 事業計画案について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新任教職員研修
- ・ 初年次教育の実施状況把握
- ・ 授業アンケート（Ⅰ期オンライン授業アンケート、Ⅱ期授業アンケート）
- ・ 授業公開
- ・ 教職員FD・SD研修会（オンライン研修会：オンライン授業に関する研修会、アクティブラーニングの手法含む）
- ・ 教職員カフェ（オンラインでワークショップ形式及びフリーディスカッション形式で行う情報交換）
- ・ FD・SDニュースレターの発行

b 実施方法

・ 新任教職員研修

年度初めに新任教職員対象に「新任教職員研修プログラム」を実施

・ 初年次教育と専門教育連携における「学びの見える化」取り組みへの実施状況把握

兵大Basics“A”「日本語（読解と表現）」「英語」「コンピュータ演習」の基礎力テストを実施  
学生の基礎力を把握、学生に内省させた。また、専門教育科目に臨むための基礎力を兵大Basics“B”  
として学科ごとにふりかえりなどの取り組みを実施した。

兵大Basics“C”は、汎用的能力（ジェネリックスキル）を測る目的で次年度以降、外部アセスメントテストを活用して実施する予定である。専門教育への接続部分である兵大プロフェッショナルカ  
については、学科ごとに専門的な科目を設定しルーブリックや自己評価等でふりかえりができるように設計し、次年度以降に実施する。

・ 授業アンケート・オンライン

I 期学期末(8月)にオンライン授業の状況把握のため緊急アンケートをwebで実施した。

II 期学期末(1月)Webによる授業アンケートを実施した。

・ 授業公開

I 期・II 期ともに、全学科において公開科目を設定し、公開期間内において教職員による授業参観を実施。  
参観後は、参観シートを記入の上、授業公開者へフィードバックを行った。

また、本年度新たに学科主催の学科等授業公開および意見交換会（2020年9月～12月末）を実施した。

学科の授業において目的を持った意見交換会で確認・協調でき、主体的に授業改善への取り組みが進んだ。

・ 教職員FD・SD研修会・オンライン（ALに関する研修会含む）

オンライン授業で教育の継続のためオンライン研修会を開催する。オンラインでの授業運営方法やグループ  
ワークの方法、オンライン授業アンケートの分析・研修会

テーマを設定し、全教職員に対し周知を行い、講演会を全3回（7月、11月、2月）実施した。

・ 教職員カフェ・オンライン（ワークショップ形式及びフリーディスカッション形式で行う情報交換）

授業継続のため「オンライン授業」に関するテーマでオンラインでグループディスカッションを実施した。

また、教職員FD・SD研修会関連させ、研修会の前後に実施した。

・ FD・SDニュースレターの発行

「兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SDニュースレター」を年2回（9月、3月）発行し、全教職員に配付した。

また、学園関係部署や他大学の関係部署等に送付した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 新任教職員研修

（教育分野）令和2年4月2日（木）開催 対象者17人、参加者14人（参加率82.3%）

（研究分野及び地域連携関連）令和2年4月3日（金）開催 対象者17人、参加者14人（参加率82.3%）

・ 初年次教育の実施状況把握

兵大Basics“A”「日本語（読解と表現）」「英語」「コンピュータ演習」の基礎力テストを実施

学生の基礎力を把握した。また、専門教育科目に臨むための基礎力を兵大Basics“B”として

学科ごとにルーブリック、自己評価を行い、ふりかえりを通じ初年次教育の教育効果を高めた。

・ オンライン授業アンケート

I 期期末：令和2年8月4日（火）～8月31日 24時（日） 有効回答率 54.5%

コロナ禍におけるオンライン授業に関する緊急アンケート（全学生向け・教員向け）

アンケート集計データを分析し第3回教職員FD・SD研修会で全教職員に向け解説会を実施する。

・ 授業アンケート

Ⅱ 期期末：令和2年1月6日（水）～ 2月 5日（金） 回答率 44.0%

Ⅱ 期全科目を対象に授業内及び授業外で実施（実施開始日までに授業が終了した科目も含む）

（実施後のフォロー：学生）

- ・ 授業アンケート結果集計後、アンケート結果の概要をまとめ、学生掲示板において公表（ポスター掲示）。
- ・ 授業アンケートの詳細な集計結果（大学、短大、各学科別）を学生に対して教学情報システムにて公表。

（実施後のフォロー：教員）

- ・ 実施後、専任教員に対し「Webアンケート実施にかかるアンケート」を実施。
- ・ 専任教員および兼任教員に科目シートを返却。
- ・ 科目担当者は、「授業アンケート」に関するアンケートを記入し、委員会に提出。
- ・ カリキュラム改善および授業改善に活用。

・ 授業公開

I 期：令和2年7月8日（水）～7月22日（水） オンライン授業を対象に短期間実験的に公開した。

公開科目数 8科目 授業参観延べ人数 22人（専任教員 15人、専任職員 7人）

Ⅱ 期：令和2年11月16日（月）～12月11日（金）

公開科目数 56科目 授業参観延べ人数 84人（専任教員 68人、専任職員 16人）

・ 教職員FD・SD研修会（全期間オンライン研修会）

第1回 令和2年7月29日（水） 参加者 143人（教員 104人、職員 16人、非常勤教員他 23人）

テーマ：「オンライン授業について」

本学では、5月から全面オンライン授業となったが、LMSの「教学情報システム」「manaba」「ムードル」映像配信システムの「zoom 他」等を使用、Ⅱ期以降の授業設計のため各学科及び機構からそれぞれオンライン授業の事例発表を行い、同授業の運用の仕方や工夫、課題等を情報共有した。

- ・ 現代ビジネス学科教授 榎木 浩
- ・ 栄養マネジメント学科教授 増村 美佐子
- ・ 健康システム学科准教授 河野 稔
- ・ 看護学科助教 藤後 栄一
- ・ 社会福祉学科教授 田端 和彦
- ・ こども福祉学科教授 高野 敦子
- ・ 共通教育機構准教授 湯瀬 晶文
- ・ 保育科教授 田中 敬子

第2回 令和2年11月4日（水） 参加者 125人（教員88人、職員14人、非常勤教員他 23人）

テーマ：「オンライン授業の可能性について」

オンライン授業アンケートで学生の満足度が高い教員から3名を選出し、「オンデマンド授業の可能性」及び「オンライン授業での工夫」について授業運営や課題、工夫等を情報共有した。

- ・ 共通教育機構教授・教学部長 北島 律之
- ・ こども福祉学科教授 松田 信樹
- ・ 栄養マネジメント学科准教授 中井 玲子

第3回 令和3年2月18日（木） 参加者 100人（教員84人、職員7人、非常勤教員他 9人）※研修会と合同開催

基調講演 ・ 社会福祉学科教授・FD・SDオフィス室長 吉原 恵子

テーマ：「オンライン授業の実施に関する調査の結果報告について」

オンライン授業アンケートの分析結果結果の解説を基調講演とし、Zoomブレイクアウトセッションでワークショップを開催した。オンライン授業の傾向と課題を把握し今後の授業設計について共通認識を得た。また、オンライン時のアクティブラーニングの実証が取れた。



- ・ 教職員カフェ（全期間オンライン、ワークショップ形式及びフリーディスカッション形式で行う情報交換）
  - 第1回 令和2年8月7日（金） 参加者 48人（教員 40人、職員 2人、非常勤教員他 6人）
 

テーマを研修会と同じ「オンライン授業の実施に関する調査の結果報告について」とし、日程も関連させる。Zoomブレイクアウトセッション機能を使い研修会のふりかえりをグループワークで行う。また、オンライン時のアクティブラーニングスキルを共有する。
  - 第2回 令和2年11月4日（水） 参加者 17人（教員 14人、職員 1人、非常勤教員 2人）
 

テーマを「オンライン授業をふりかえるⅡ」とし、オンライン授業に関するワークショップを実施した。
  - 第3回 令和3年2月18日（木） 参加者 100人（教員84人、職員7人、非常勤教員他 9人）※研修会と合同開催
 

「オンライン授業の実施に関する調査の結果報告について」ワークショップを行う。
- ・ FD・SDニュースレターの発行
  - 第9号（令和2年10月発行）
 

「全学で取り組んだオンライン授業の実施」について、授業継続を支えた人物に焦点をあてた。
  - 第10号（令和3年3月発行）
 

「オンライン化と学生とのコミュニケーション」について、学生との関わりに焦点をあてた。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

コロナ禍によりオンライン授業が学びの中心となった。FD・SDオフィス推進委員会として「学びの継続」を第1として、5月からタスクフォース中心に「オンライン授業」に関する研修会（FD関連の研修とは別）を全学合同で適宜開催した。FD・SDオフィス推進委員会としては、オンライン授業アンケートを行い、分析・解説を通して全体の傾向と課題を示し共有した。

教職員FD・SD研修会を実施したことにより、学修成果の可視化に向けて理解を深め、考えるきっかけとなり、各教職員の教育の質向上に対する意識を高めることができた。

授業公開実施後には、教職員カフェを開催した。授業公開及び参観結果を踏まえた気づきや授業の実施方法等についてディスカッションを行うことによりオンライン授業でのアクティブラーニングを体験し、授業改善に向けた意識も高まった。また、交流により教職員間の意見交換が進み、組織的に教育力向上に取り組む風土醸成につながった。

授業アンケートについて、2020年度Ⅰ期は授業の実態把握と学生対応のため「オンライン授業アンケート」を教員及び学生に緊急実施した。同集計結果は、第3回研修会にて、分析・解説され共有した。

2020年度Ⅱ期は通常通り授業科目別にwebで実施する。実施後は、学生に対しアンケート結果の概要を公表した。また、教員についてもアンケート結果をフィードバックした上で、その結果に対する授業改善に向けたコメントを記載してもらった。学生と教員がともに授業を振り返ることで、今後の授業改善に活用できるだけでなく、教育と学修を全学の視点から考察するデータ資料となった。

FD・SDニュースレターの発行により、大学全体としての教育に対する課題や指針等を伝えるとともに、実際の「FD・SD活動」を周知することができた。当年度はオンライン授業を支えた教職員に焦点をあてた。

「学びの継続」という目標が達成できた裏側取材し、共通認識ができ教職協働を進展させる一助ともなった。

以上のような活動を通じて、教員相互、また教職員間において、実質的な授業改善に関する意識と技術を高めるとともに、教育改革の必要性和課題を認識することができ、教育の質向上にむけた啓発および取り組み、環境整備を推進することができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

2020年度Ⅰ期、学生に対してのオンライン授業へのアンケート、Webの実施

2020年度Ⅱ期、対象すべての科目、Webの実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教学情報システム、本学ホームページ

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和3年10月30日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開(予定)

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・平成28年度に認証評価機関「日本高等教育評価機構」において受審済。

・令和4年度に認証評価機関「日本高等教育評価機構」の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [ 有 ・ 無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。